



ビデオカード

ソフトウェアガイド

J1729

初版

2005年8月

Copyright © 2005 ASUSTeK Computer Inc. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1)ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2)製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理店は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

ASUS と ASUS ロゴはASUSTeK Computer Inc の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 98、Windows 98SE、Windows ME、Windows 2000、Windows NT、Windows XP は、Microsoft Corporation の登録商標です。Intel はIntel Corporation の登録商標です。NVIDIA は NVIDIA Corporation の登録商標です。SiS は Silicon Integrated Systems Corporation の登録商標です。ALi は ALi Corporation の登録商標です。VIA は VIA Technologies Inc の登録商標です。その他全ての企業と製品名も商標、または登録商標です。

もくじ

ご注意	iv
安全上のご注意	v
このマニュアルについて	vi
1. ASUS GameFace Messenger	1
1.1 概要	1
1.2 使用する前に	1
1.3 Contacts (メンバ)	7
1.4 Tools (ツール)	9
1.5 Settings (設定)	11
2. ASUS Splendid	16
2.1 主な機能	16
2.2 ASUS Splendid の機能	16
3. ASUS OnScreenDisplay (OSD)	19
3.1 主な機能	19
3.2 ASUS OSDを有効にする	19
4. ASUS GameLiveShow	20
4.1 主な機能	20
4.2 ASUS GameLiveShow を使用する	20
5. ASUS SmartDoctor	27
5.1 各機能	27
5.2 ASUS SmartDoctor の起動	27
6. ASUS SmartDoctor	28
6.1 Voltage status (電圧の状態)	28
6.2 Temperature status (温度)	28
6.3 Fan speed status (ファンスピードの状態)	29
6.4 エンジンとメモリクロックの設定	29
6.5 詳細設定	30
7. ASUS VideoSecurity Online	35
7.1 ASUS VideoSecurity を起動する	35
7.2 Setup (セットアップ)	36
7.3 Video Source (ビデオソース)	49

ご注意

Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communication Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

安全上のご注意

電気の取扱い

- ・ 本製品に周辺機器を接続する場合は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電力がわからない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。
- ・ 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本製品に付属のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。短絡事故の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

Macrovision 社の製品について

本製品は著作権保護技術を採用しています。この技術は米国の特許の方法クレームと、Macrovision 社及び他の権利所有者が保有する知的財産所有権により保護されています。この技術を使用するには、Macrovision 社の許諾が必要で、許諾のない場合は個人で使用するなどの用途に限られます。また、この技術の他への無断転用・分解は禁止されています。

このマニュアルについて

このマニュアルの表記について

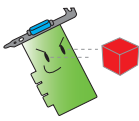
本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告：本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意：本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要：本製品を取り扱う上で、必要な指示です。



注記：本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

製品情報を得るには

製品や、ソフトウェアのアップデートに関する情報は、次を参考にしてください。

1. ASUS Webサイト

ASUS Webサイト (<http://www.asus.co.jp/>) では、ハードウェア、及びソフトウェアのアップデート情報をご提供します。

2. オプション ドキュメント

本製品のパッケージに、販売店などが提供する保証や、ちらし等のオプション ドキュメントが添付されている場合がありますが、本製品とは一切関係ありません。

1. ASUS GameFace Messenger

1.1 概要

ASUS GameFace Messenger は他のユーザーとテキスト、オーディオ、動画でのリアルタイムコミュニケーションを可能にします。また、point-to-point ビデオ会議機能とオンラインゲームを同時使用することができます。


1.2 使用する前に

1.2.1 ASUS GameFace Messenger を起動する

起動手順

「スタート」ボタンをクリックし、GameFace Messenger を「全てのプログラム」から選択します。

-あるいは-

デスクトップ上の GameFace Messenger のアイコン  をダブルクリックします。

1.2.2 新しいアカウントの作成

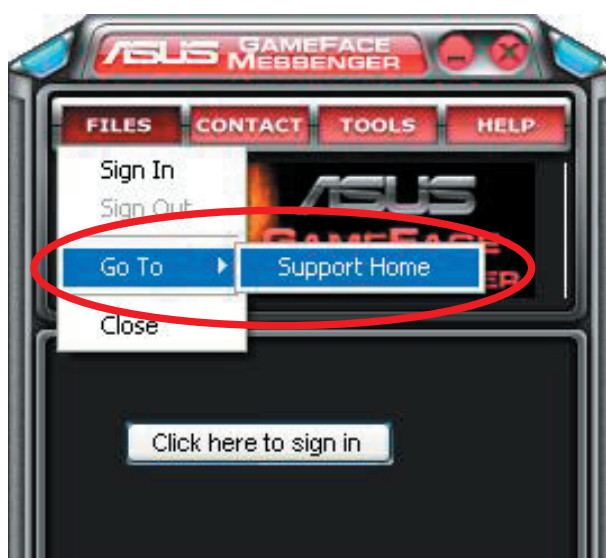
GameFace Messenger アカウントがない場合は、次の手順で作成してください。



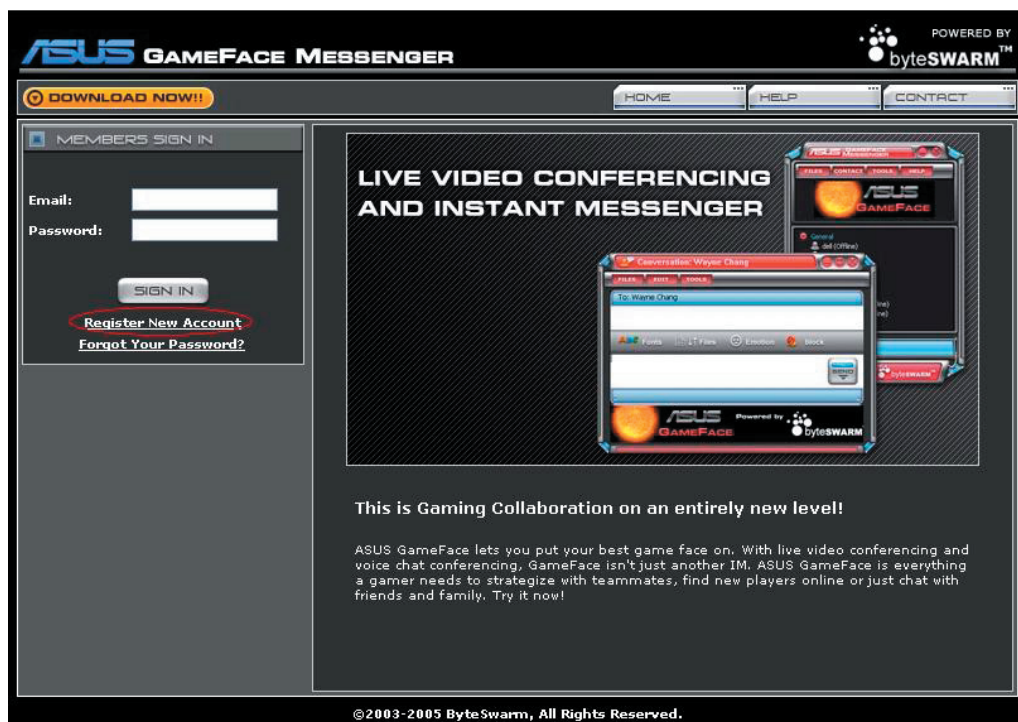
新しいアカウントを登録する際はインターネットに接続してください。

アカウントを作成する

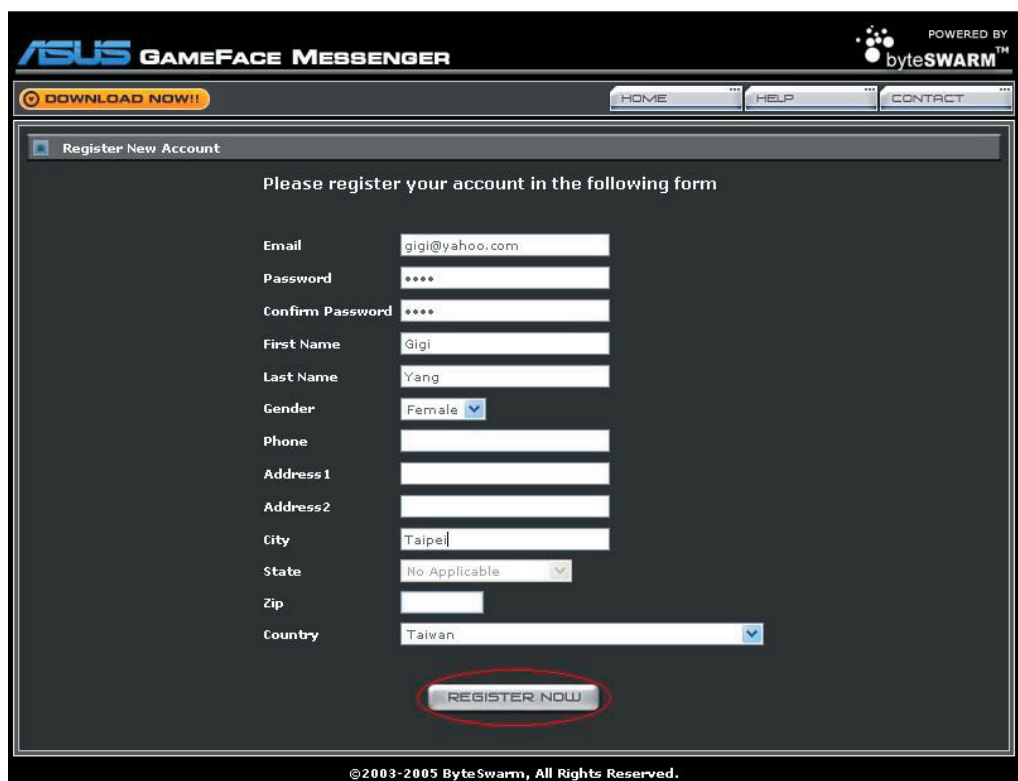
1. GameFace Messenger メニューで、「Files」をクリックし、「Go To」から「Support Home」を選択します。



2. 下のサイトから、「Register New Account」をクリックします。（画面左中央）



3. 必要な個人情報を入力し「REGISTER NOW」をクリックします。



4. その後は画面の指示に従ってください。

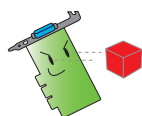
1.2.3 GameFace Messenger にサインインする

手順

1. インターネットに接続しても自動的にサインインしない場合は、「File」をクリックし「Sign In」を選択します。
-あるいは-
メインメニューで、「Click here to sign in」をクリックすると、次の画面が現れます。



2. サインインに必要な情報が保存されていない場合は、Eメールとパスワードを入力して「OK」をクリックします。
3. 情報を保存したい場合は、「Remember my ID & Password」にチェックを入れてください。
4. インターネット接続した際に自動的にサインインしたい場合は「Sign me in automatically」にチェックを入れてください。



コンピュータを他のユーザーと共有している場合は、手順 3 と 4 は実行しないことをお勧めします。

1.2.4 サインアウトする

手順

GameFace Messenger メニューの「File」 から「Sign Out」をクリックします。

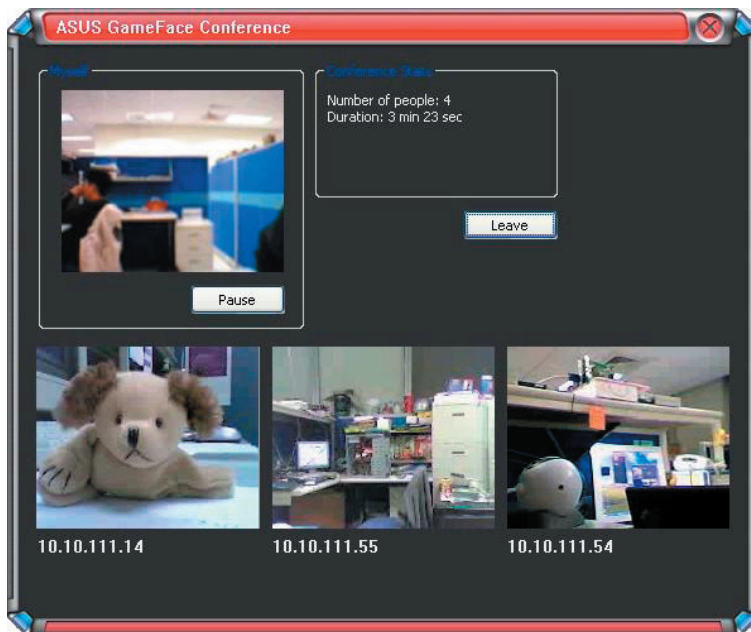
1.2.5 GameFace Messenger conference に他のユーザーを招待する

手順

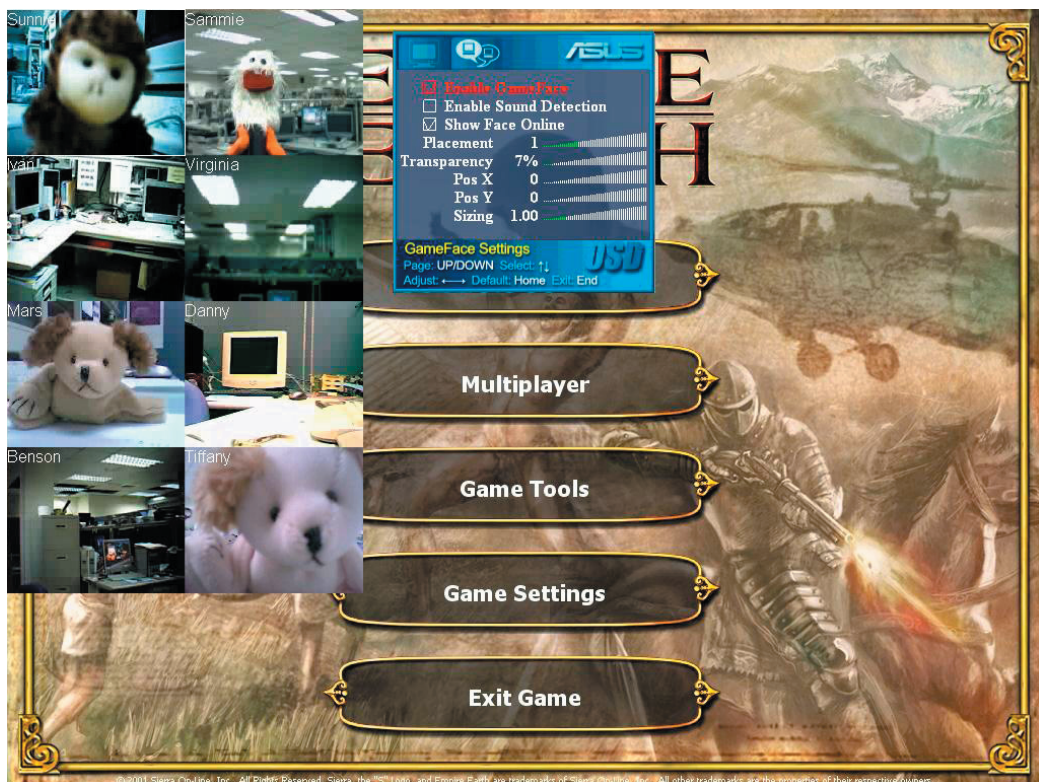
1. オンラインのユーザーを右クリックします。



3. ASUS GameFace Messenger では他のユーザーを最高 8 人招待することができます。下の写真は 4 人参加している状態です。



4. OnScreen Display (OSD) ホットキーを押し OSD メニューを表示させます。「Enable Gameface」にチェックを入れると、フルスクリーンゲームの最中にGameFace Messenger が表示されます。



1.2.6 ディスプレイネームの変更

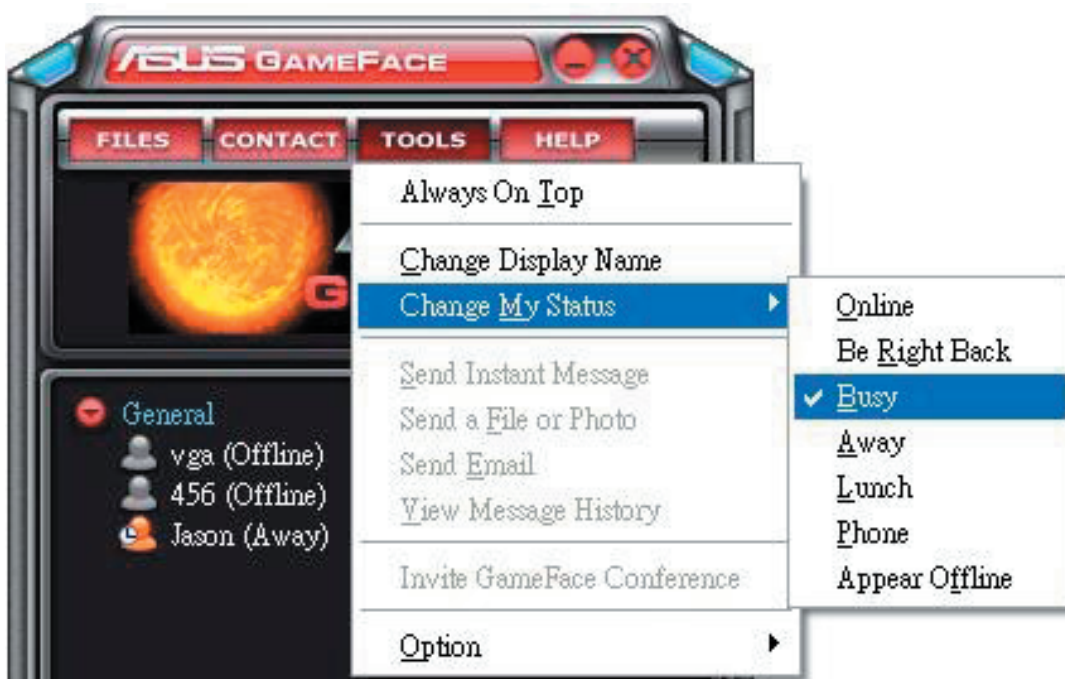
手順

GameFace Messenger メニューから→「Tools」→「Change Display Name」を選択すると次の画面が表示されます。

1.2.7 表示状態を変更する

手順

GameFace Messenger メニューから→「Tools」→「Change My Status（表示状態の変更）」をクリックすると、下の写真のようなリストが表示されます。表示された7つの選択肢から、相手に表示したいものを選択してください。



1.3 Contacts (メンバ)

1.3.1 新しい Contact を追加する

手順

GameFace Messenger メニューから「Contact」→「Add a Contact (メンバーの追加)」を選択し、画面の指示に従ってください。



1.3.2 Contact を削除する

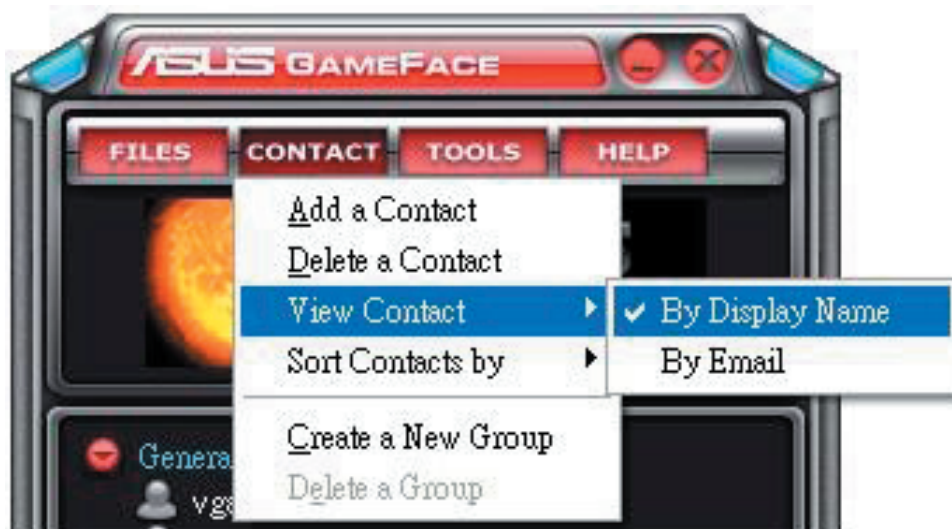
手順

GameFace Messenger メニューから「Contact」→「Delete a Contact (メンバーの削除)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.3.3 Changing contact view (メンバーの表示方法)

手順

GameFace Messenger メニューから「Contact」→「View Contact (メンバーの表示方法)」を選択し、Contact の表示方法を「By Display Name (名前で表示)」または「By Email (Eメールで表示)」から選択します。



1.3.4 Sorting contacts (メンバーの分類)

手順

GameFace Messenger メニューから「Contact」→「Sort Contact by (メンバーの分類)」を選択し、「Group」または「Online/Offline」状態で分類するか設定します。



1.3.5 Creating groups (グループの作成)

手順

GameFace Messenger メニューから「Contact」→「Create a New Group (グループの作成)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.3.6 Deleting groups (グループの削除)

手順

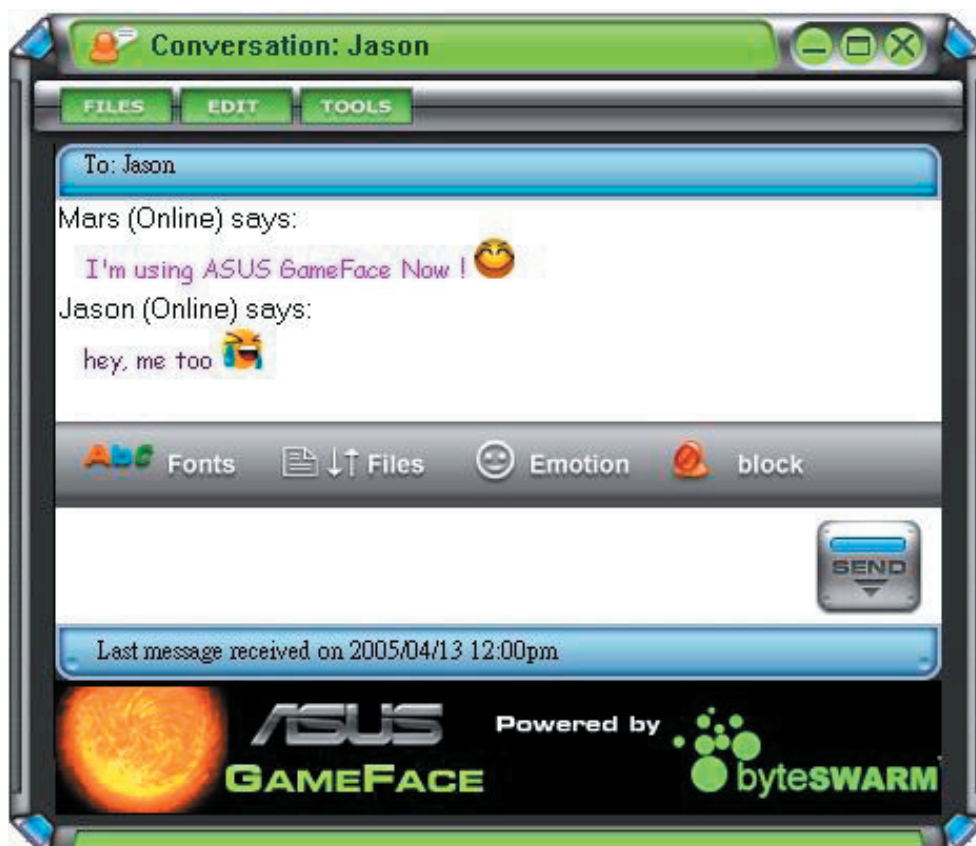
GameFace Messenger メニューから「Contact」→「Delete a Group (グループの削除)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.4 Tools (ツール)

1.4.1 Sending an instant message (インスタントメッセージを送る)

手順

リストからオンラインのユーザーを選ぶと、次の画面が表示されます。メッセージを入力して「Send (送信)」を押すと送信されます。



1.4.2 Sending a file (ファイルの送信)

手順

1. オンラインのユーザーをダブルクリックします。
2. 「Tools」をクリックし→「Send a File or Photo (ファイルまたは画像を送信)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.4.3 Sending an email (Eメールを送信する)

手順

1. オンラインのユーザーをダブルクリックします。
2. 「Tools」をクリックし→「Send Email (Eメールの送信)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.4.4 View message history (履歴を参照する)

手順

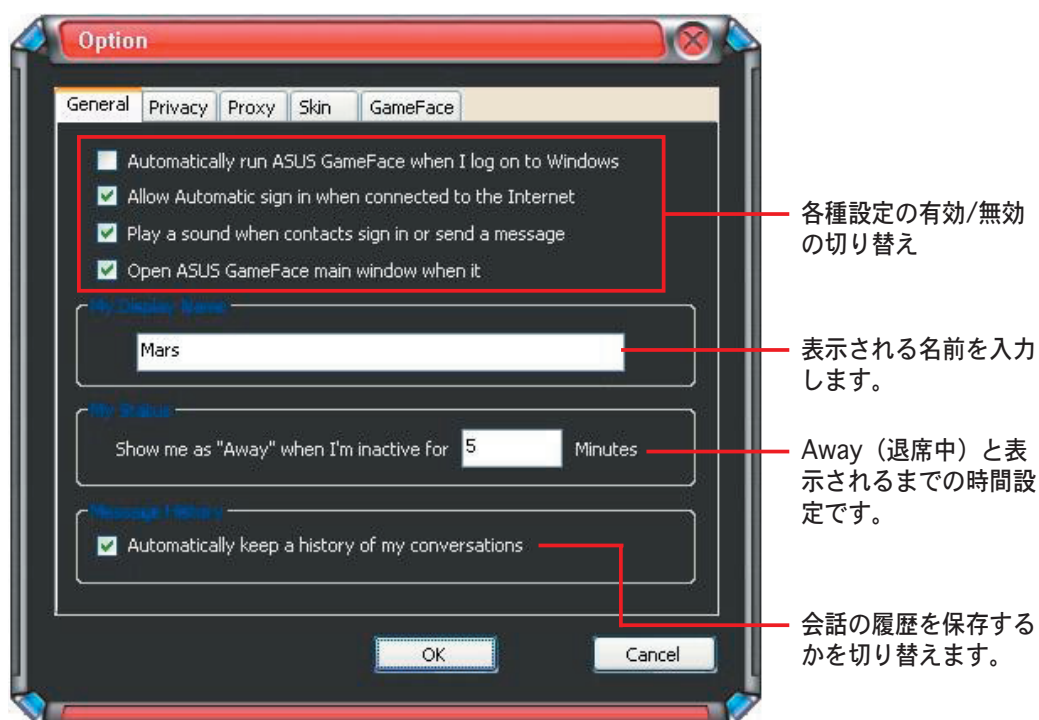
1. オンラインのユーザーをダブルクリックします。
2. 「Tools」をクリックし→「View Message History (履歴の参照)」を選択し、画面の指示に従ってください。

1.5 Settings (設定)

1.5.1 General (一般設定)

表示方法

1. GameFace Messenger メニューから「Tools」→「Option」→「General Setting (一般設定)」を選択すると次の画面が表示されます。

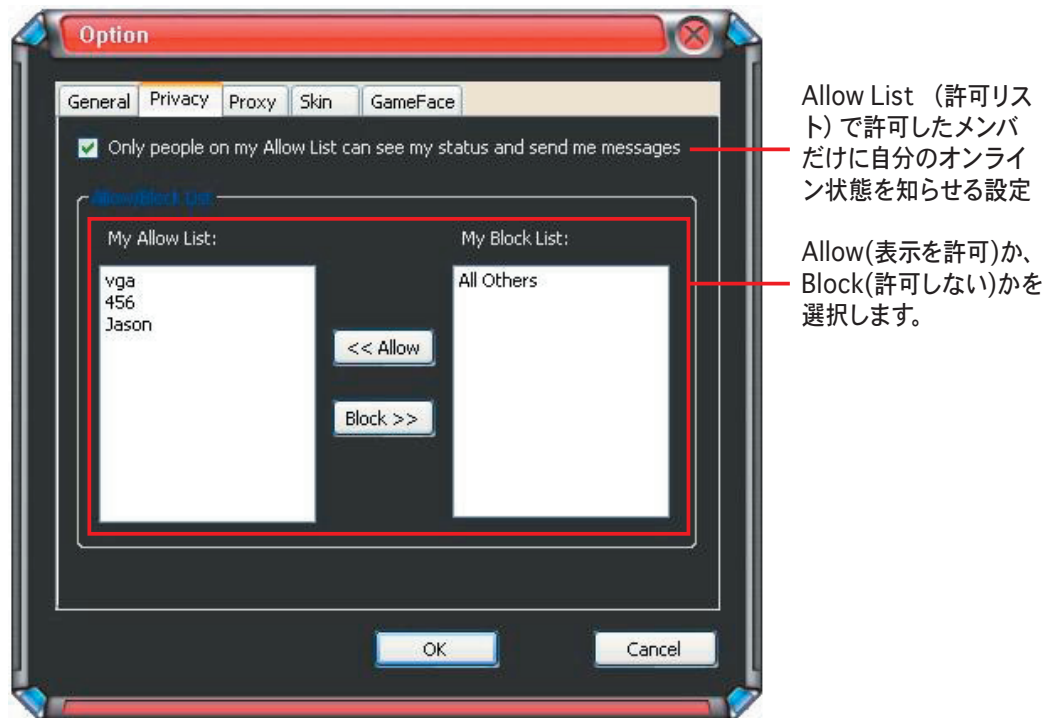


2. 変更内容を保存するには「OK」を、保存せずにMain menuに戻るには「Cancel」を押します。

1.5.2 Privacy (オンライン状態の通知)

表示方法

GameFace Messenger メニューから「Tools」→「Option」→「Privacy Setting (オンライン状態の通知)」を選択すると、次の画面が表示されます。

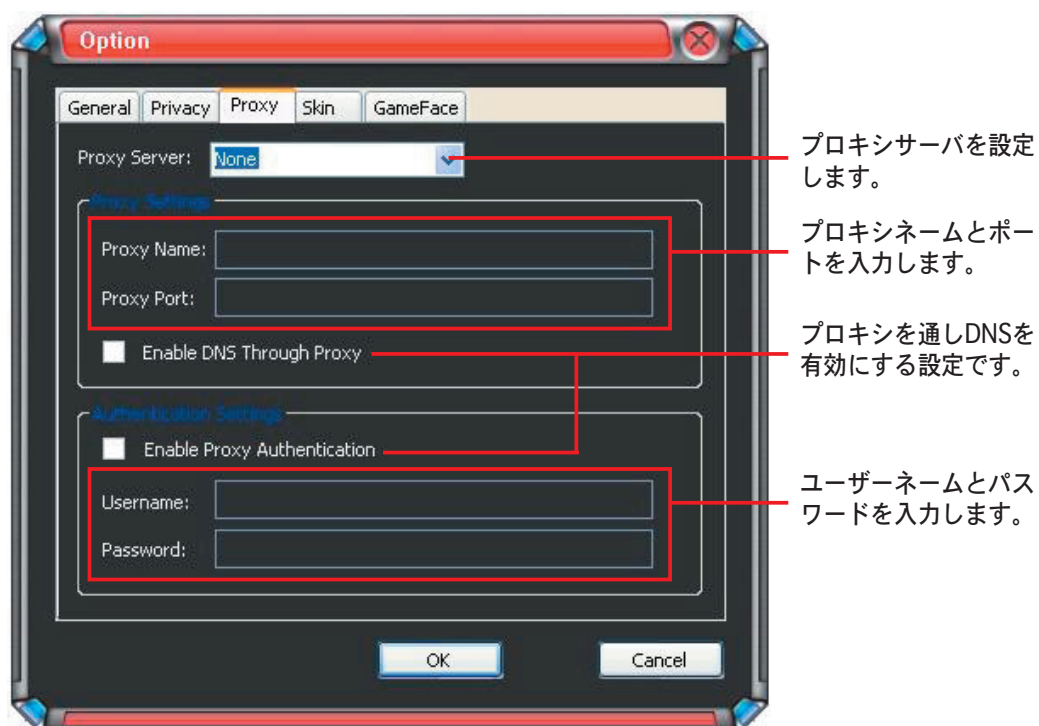


2. 変更内容を保存するには「OK」を、保存せずにMain menuに戻るには「Cancel」を押します。

1.5.3 プロキシ

プロキシの表示方法

GameFace Messengerメニューから「Tools」→「Option」→「Proxy Setting（プロキシ設定）」を選択すると次の画面が表示されます。

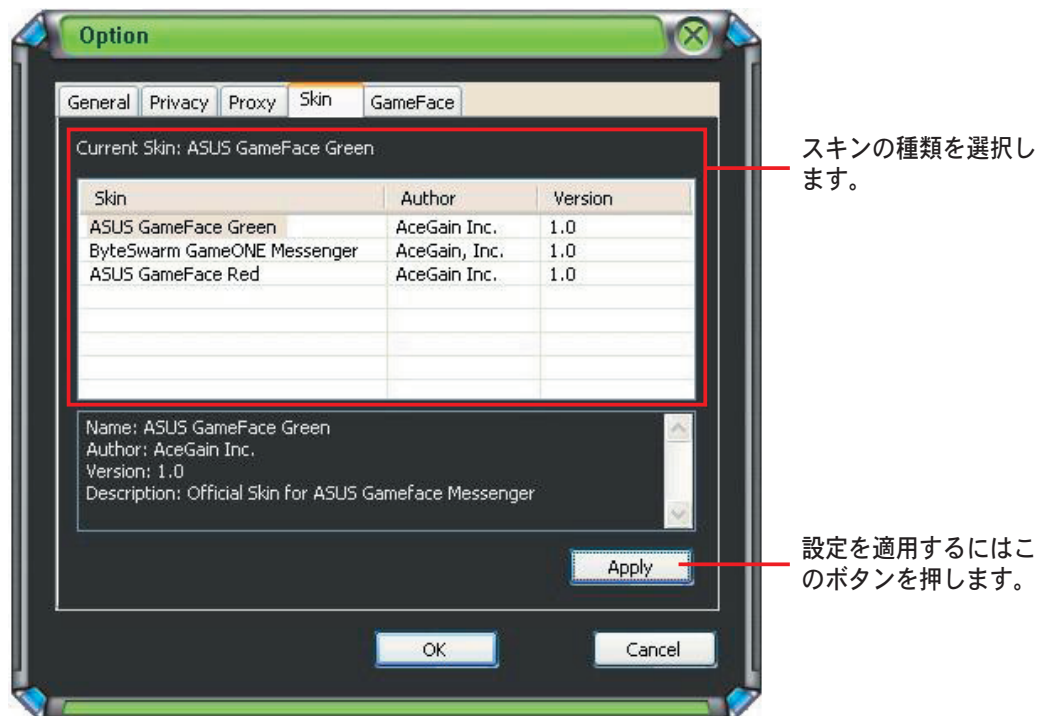


2. 変更内容を保存するには「OK」を、保存せずにMain menuに戻るには「Cancel」を押します。

1.5.4 Skin (スキン設定)

スキンの表示設定

GameFace Messenger メニューから「Tools」→「Option」→「Skin Setting (スキン設定)」を選択すると、次の画面が表示されます。

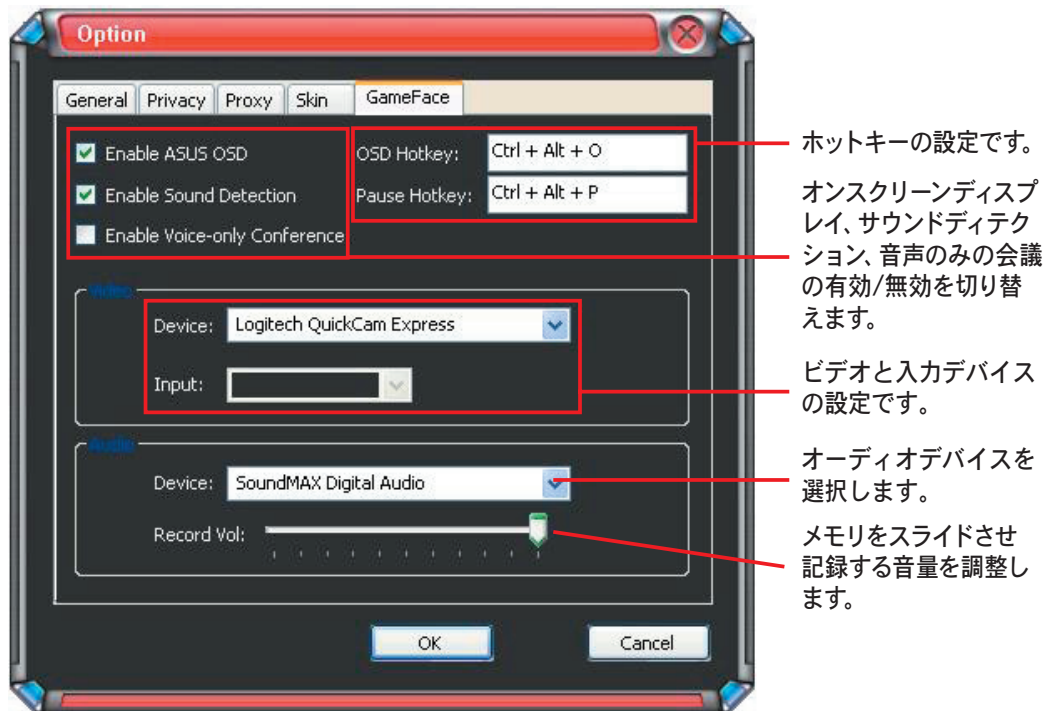


2. 変更内容を保存するには「OK」を、保存せずにMain menuに戻るには「Cancel」を押します。

1.5.5 GameFace

GameFace 設定の表示方法

GameFace Messenger メニューから「Tools」→「Option」→「GameFace Setting」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 変更内容を保存するには「OK」を、保存せずにMain menuに戻るには「Cancel」を押します。

2. ASUS Splendid

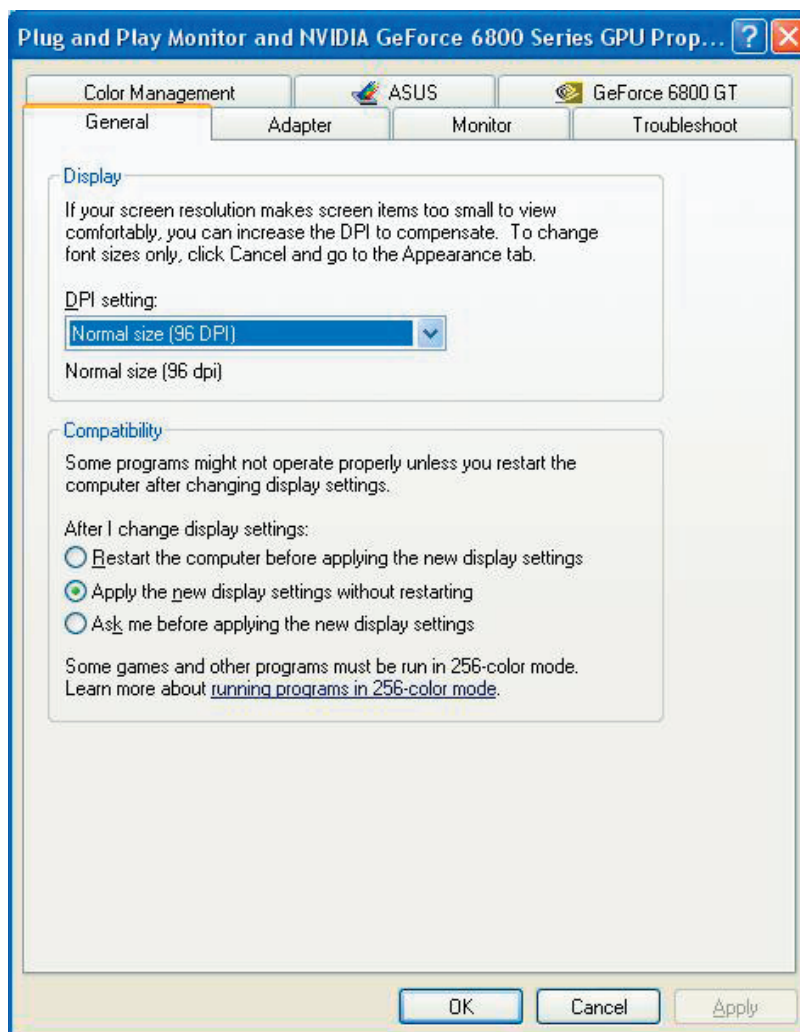
2.1 主な機能

ASUS Splendid Video Enhancement Technology はコントラスト、モードを調節することで、劇的にディスプレイのクオリティが向上します。

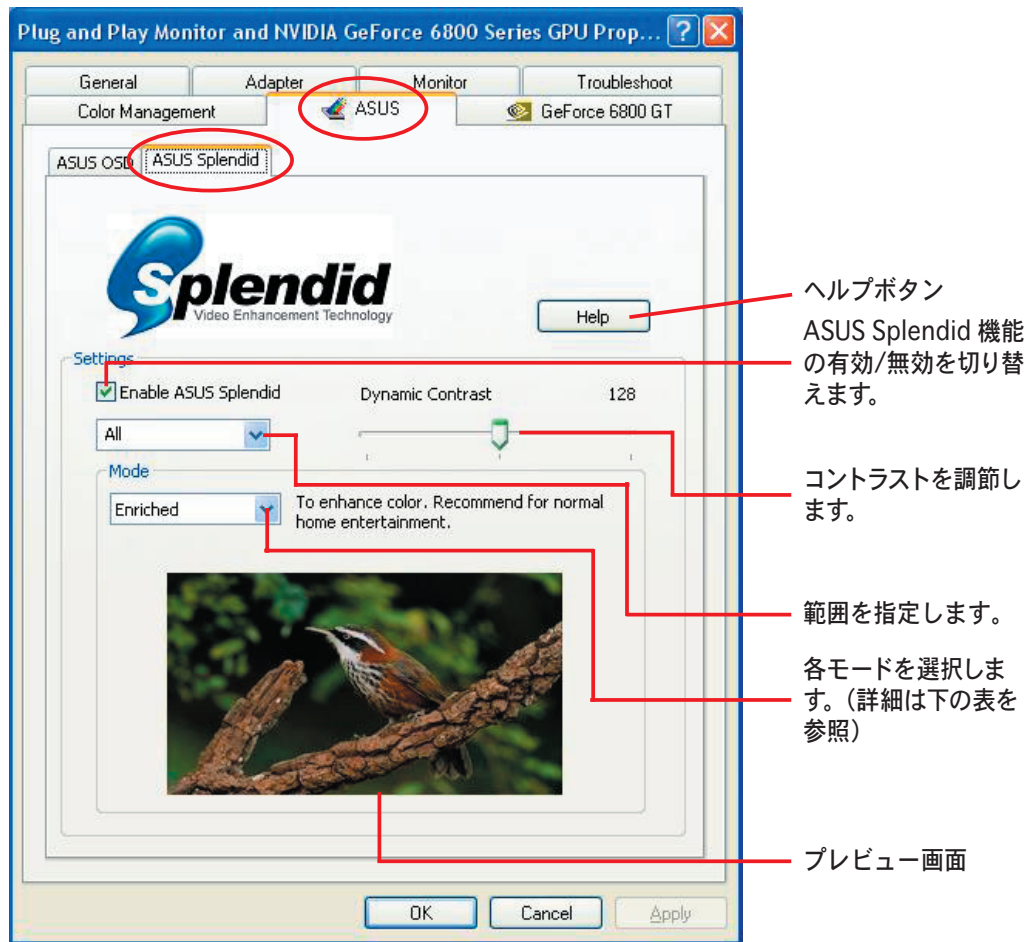
2.2 ASUS Splendid の起動

手順

1. 「スタートボタン」をクリックし、コントロールパネルから「画面」を選択します。画面のプロパティの「設定」タブを選び、画面右下の「詳細設定」ボタンを押すと次の画面が表示されます。



2. 「ASUSタブ」を選択し、「ASUS Splendid」タブを選択すると次のような画面が表示されます。



Splendid モード

MODE	詳細
Enriched	家庭での使用に最適です。
Vivid Colors	彩度とコントラストを上げます。
Theater	劇場のようなやさしいコントラストです。
Crystal Clear	明るくより細かい画像になります。

3. 変更を保存するには「OK」を押します。

3. ASUS OnScreenDisplay (OSD)

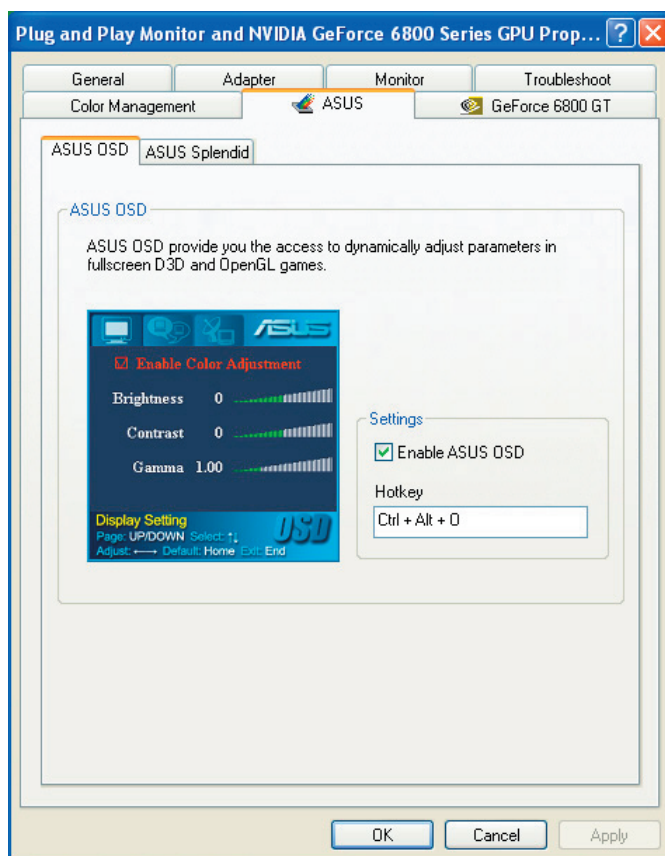
3.1 主な機能

ASUS OnScreenDisplay 機能はフルスクリーン3D ゲームや OpenGL ゲームをしていても、効果的にディスプレイのパラメータが調節できる機能です。

3.2 ASUS OSDを有効にする

ASUS OSDの起動

1. 「スタートボタン」をクリックし、コントロールパネルから「画面」を選択します。画面のプロパティの「設定」タブを選び、画面右下の「詳細設定」ボタンを押すと次の画面が表示されます。
2. 「ASUS」タブを選択し、下の画面のように「ASUS OSD」のタブを選択します。



3. 「Enable ASUS OSD (ASUS OSD を有効にする)」にチェックを入れてください。
4. 「Hotkey」の入力欄に設定するホットキーを入力します。デフォルトは「Ctrl キー + Alt キー」です。

4. ASUS GameLiveShow

4.1 主な機能

ASUS GameLive Show で、フルスクリーンゲームをリアルタイムで共有できます。Internet Explorer で、離れた場所から GameLive Show をモニターすることができます。また GameReplay 機能を使えば、ゲームの記録や再生も可能です。

4.2 ASUS GameLiveShow を使用する

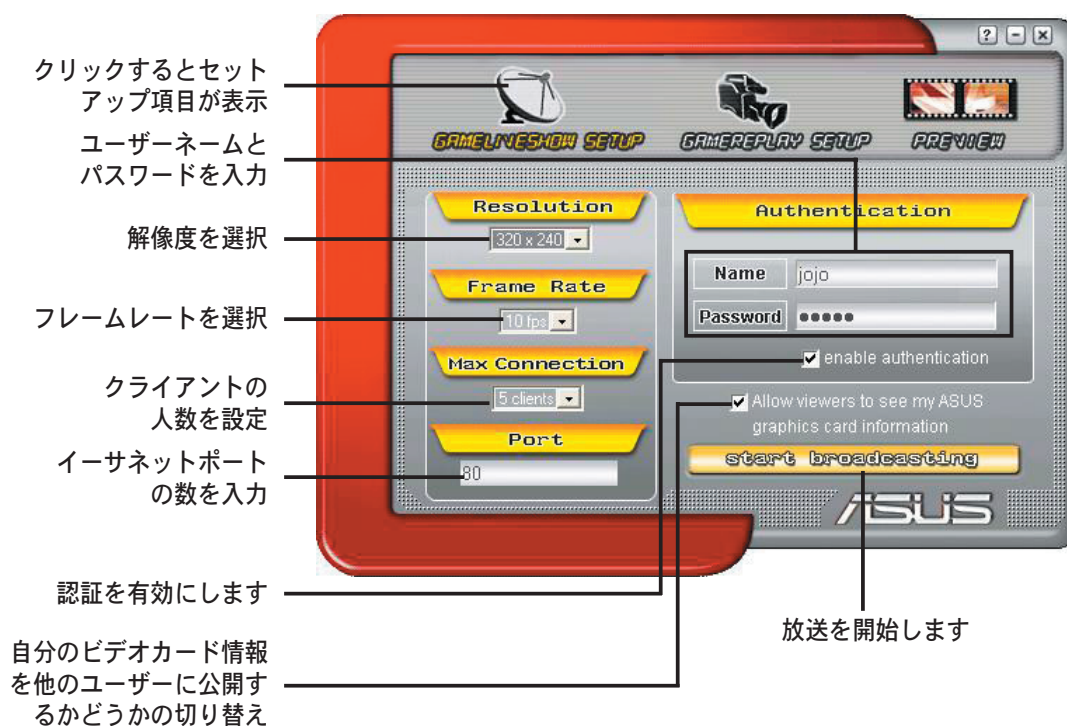
4.2.1 ASUS GameLiveShow と GameReplay の起動

ASUS GameLiveShow の起動

デスクトップ上にあるGameLiveShow のアイコンをダブルクリックします。

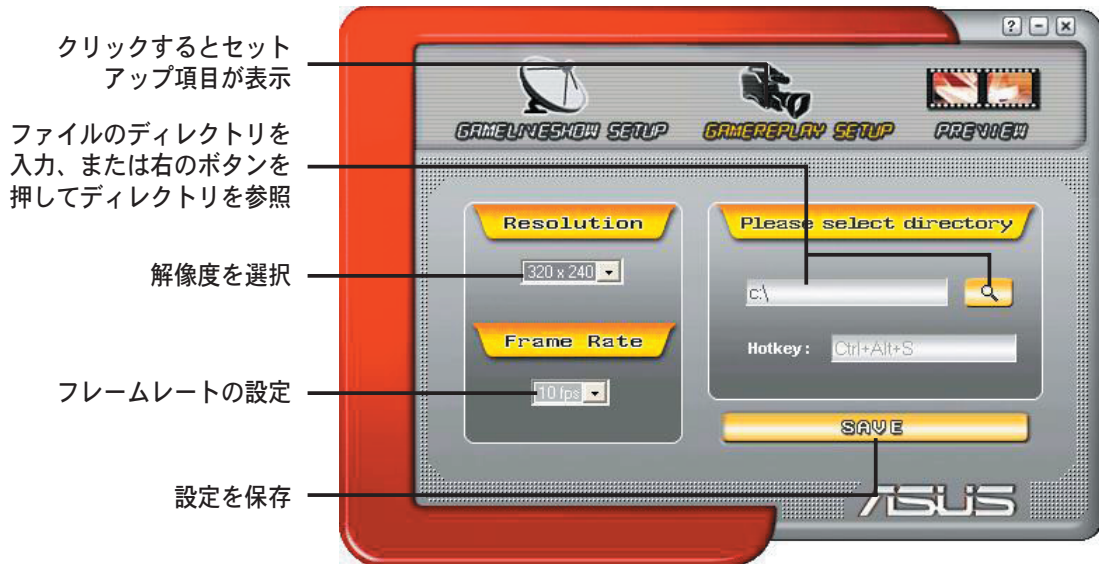
4.2.2 GameLiveShow のセットアップ

GameLiveShow setup メニューでは、解像度、フレームレート（撮影の頻度）、接続、イーサネットポート、ユーザーネーム、パスワードの設定ができます。GAMELIVESHOW SETUP アイコンをクリックすると次の画面が表示されます。



4.2.3 GameReplay のセットアップ

GameReplay setup メニューでは、解像度、フレームレート、ファイルのディレクトリ、GameReplay ホットキーを設定することができます。GAMEREPLAY SETUP アイコンをクリックすると次の画面が表示されます。



4.2.4 Preview (プレビュー)

Preview メニューでは、記録したゲームをGameReplay 機能で見ることができます。PREVIEW アイコンをクリックすると次の画面が表示されます。



4.2.5 OSD で GameReplay を有効にする

手順

1. フルスクリーンでゲーム中に、OSD ホットキーでOSD 機能を起動します。
2. 「GameLiveShow Settings」を選択し、「Enable GameReplay (GameReplay を有効にする)」にチェックを入れます。



3. GameReplay ホットキー (Ctrl+Alt+S) を押すと記録が始まり、再度押すと停止します。記録中は右の画面のような赤いマークが点滅します。

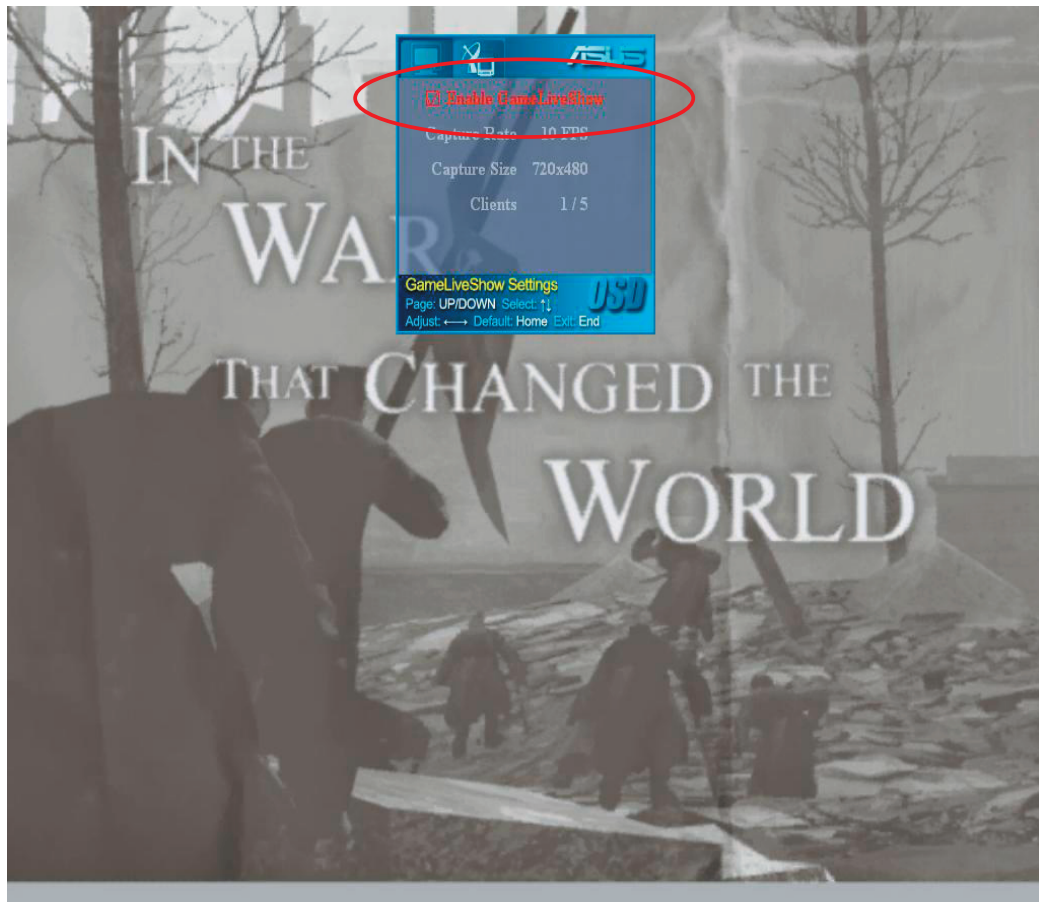


4.2.6 OSD で GameLiveShow を有効にする

他のクライアントがあなたのゲームをプレビューする前に、OSD 機能を起動し GameLiveShow を有効にします。

手順

1. フルスクリーンゲームの最中に、OSD ホットキーを使用して OSD を起動します。
2. 「GameLiveShow Settings」を選択し、「Enable GameLiveShow (GameLiveShow を有効にする)」にチェックを入れます。



3. <End> キーを押し退出します。

4.2.7 Remote client (リモートクライアントのセットアップ)

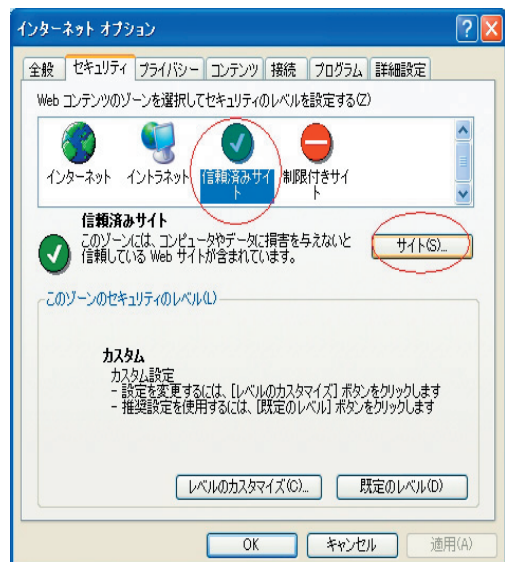
Remote clients で GameLiveShow をプレビューする前に、Internet Explorer のセキュリティの設定が必要です。

手順

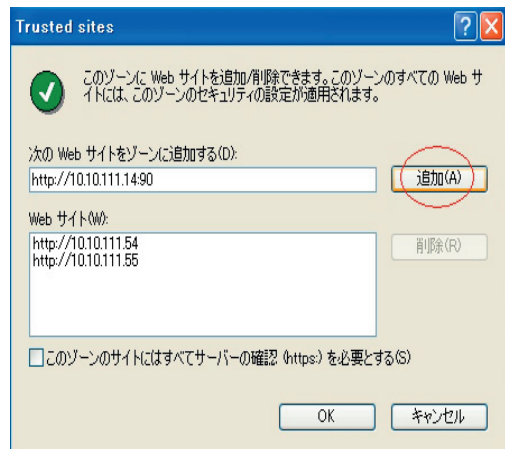
1. Internet Explorer を起動します。
2. 「ツール」から「インターネットオプション」を選択します。



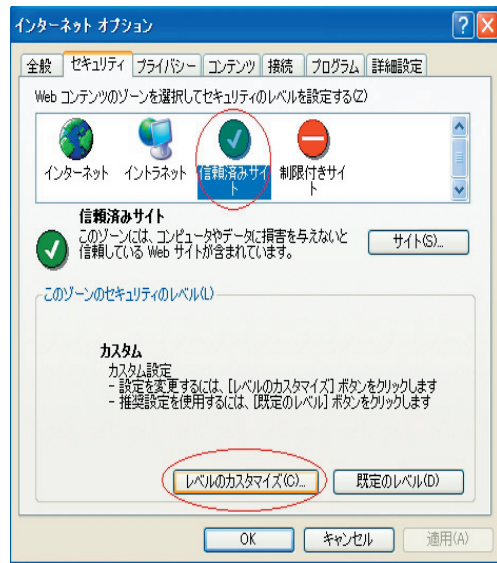
3. ダイアログボックスで「セキュリティ」タブを選択し、「信頼済みサイト」のアイコンを選択します。
4. サイトのボタンを押すと「信頼済み」の画面が表示されます。



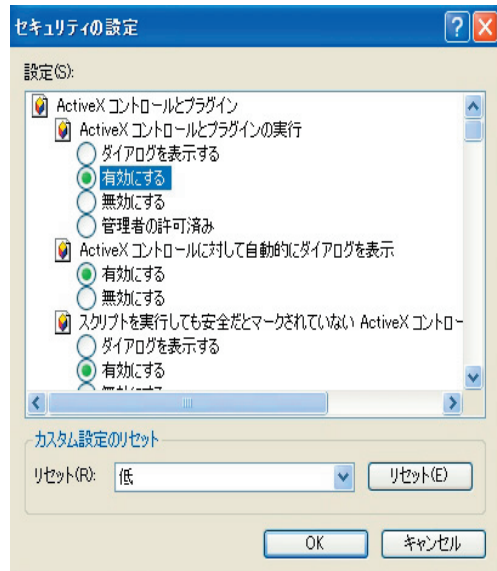
5. GameLiveShow のホストのインターネットプロトコル(IP)を入力し、「追加」ボタンを押します。
6. 「OK」をクリックし、取り消すには「キャンセル」を押します。



7. 「レベルのカスタマイズ」ボタンを押すと、「セキュリティの設定」画面が表示されます。



8. 全ての項目を有効にし「OK」をクリックします。
9. 「OK」をクリックし、インターネットオプションの画面を閉じます。

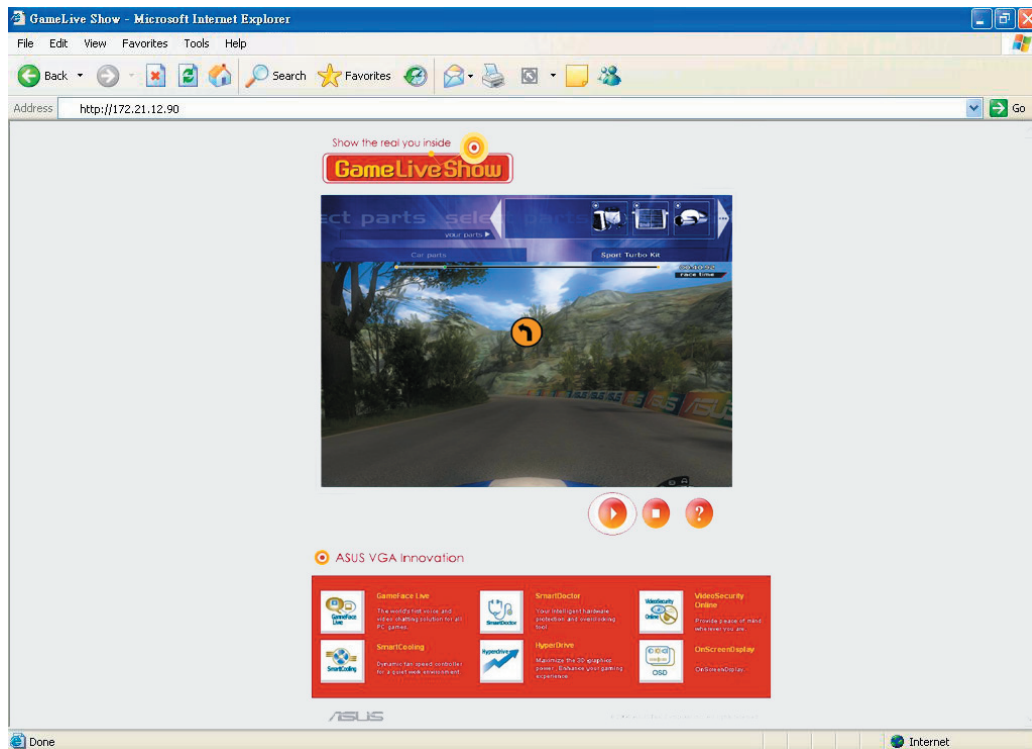


4.2.8 Remote client preview (リモートプレビュー)

セキュリティの設定が終わると、GameLiveShow のリモートプレビューが可能になります。

リモートプレビューを見る手順

1. IE アドレス欄に、GameLiveShow を映すコンピュータの IP アドレスを入力します。



2. 「Play」ボタン  を押すとプレビューが映ります。


5. ASUS SmartDoctor

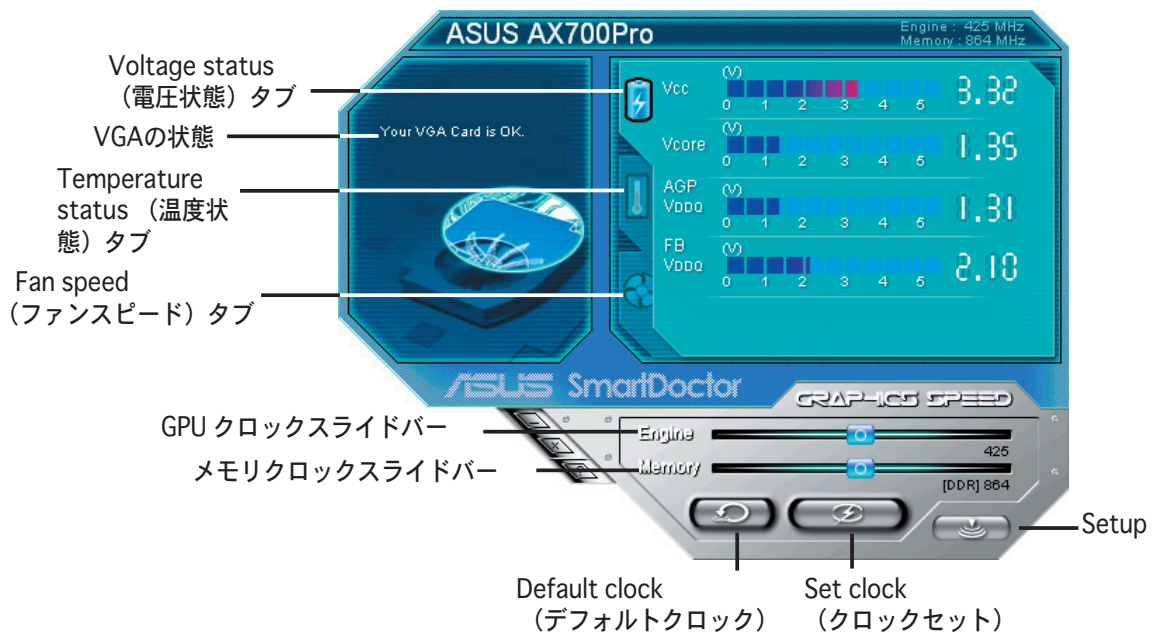
SmartDoctor はビデオカードの温度、電圧、ファンの状態をモニターします。GPU (Graphics Processing Unit) の温度を効果的に下げ、ビデオカードのクロックを調節することができます。

5.1 各機能

- ・ グラフィクスチップの温度、ファンスピード、電圧をモニターします。
- ・ オーバーヒート、ファンの異常、電圧が安全域を超えた場合などのハードウェアの異常を知らせます。
- ・ グラフィクスチップの温度が一定の値を超えた場合に冷却します。
- ・ 自動的にファンスピードを GPU の温度に応じて調節します。
- ・ GPU コアとメモリクロックの手動調節が可能です。

5.2 SmartDoctor の起動

SmartDoctor はメモリに常駐するプログラムで、Windows の起動のたびに起動し、コンピュータのメモリに留まってビデオカードの状態をチェックします。SmartDoctor メニューとその機能にアクセスするには、Windows タスクバーにある SmartDoctor のアイコン  をダブルクリックします。

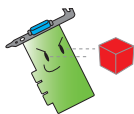
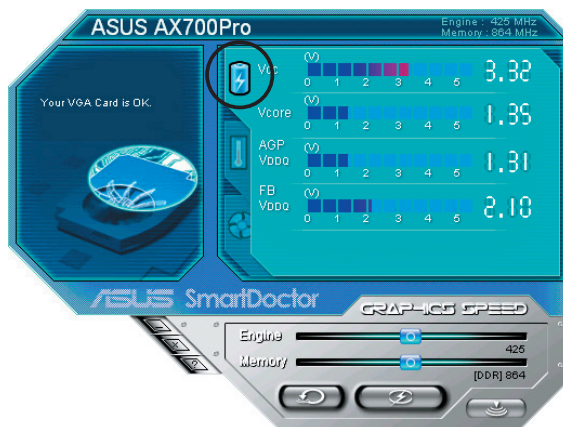


6. ASUS SmartDoctor

SmartDoctor は使いやすいメニューが特徴です。

6.1 Voltage status (電圧の状態)

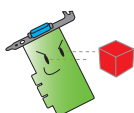
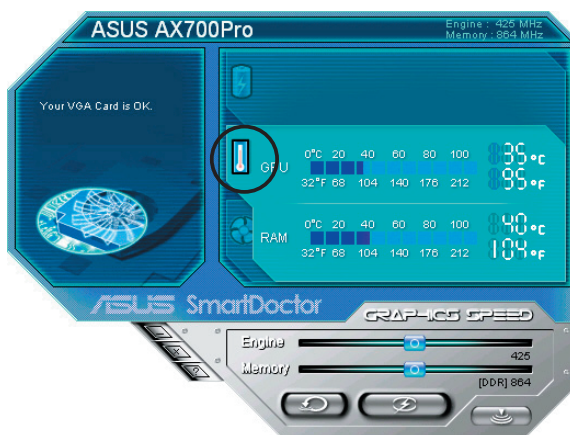
「Voltage status」タブを選ぶと、電圧の状態が表示されます。



- マザーボードからはAGP バスの VDDQ 電圧と AGP バス 3.3 ボルトが常に供給されています。供給されなくなるとシステムに異常をきたします。
- FB VDDQ お使いのビデオカードがこの電圧モニター機能をサポートしていない場合は、電圧の項目はグレーになっているか、無効になっています。

6.2 Temperature status (温度状態)

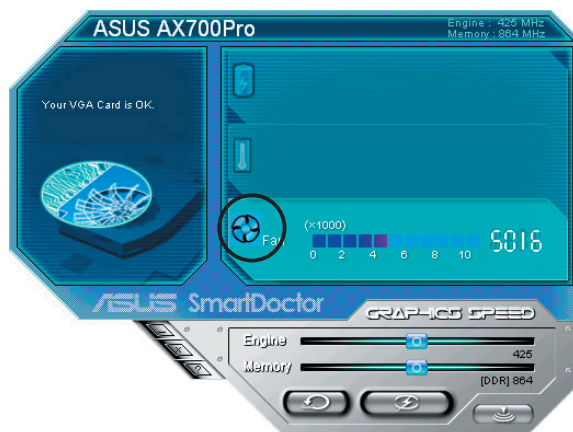
「Temperature status」タブをクリックし、GPU と RAM 温度の状態を表示させます。



お使いのビデオカードが RAM 温度のモニター機能をサポートしていない場合は、この項目はグレーに、または無効になっています。

6.3 Fan speed status (ファンスピードの状態)

「Fan speed」タブをクリックし、現在の状態を表示させます。

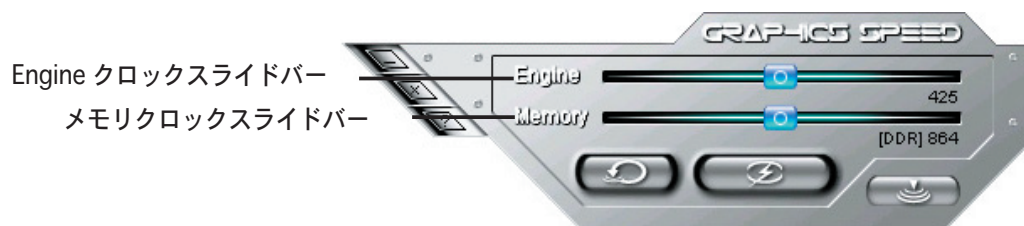



6.4 エンジンとメモリクロックの設定

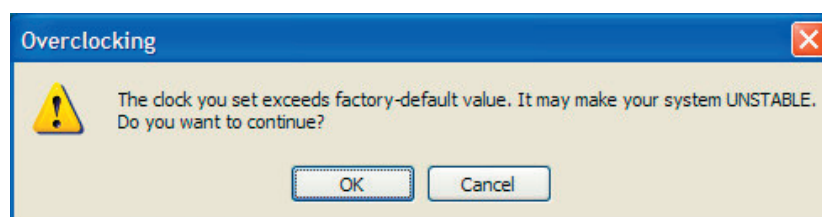
ビデオカードのエンジン (GPU) とメモリクロックを手動調節し、パフォーマンスを上げることができます。

手順

1. 「Engine (GPU) クロックスライダ」を移動して調節します。
2. 「メモリクロックスライダ」を移動し調節します。



3.  を押します。
4. 警告メッセージが現れますが、「OK」をクリックします。



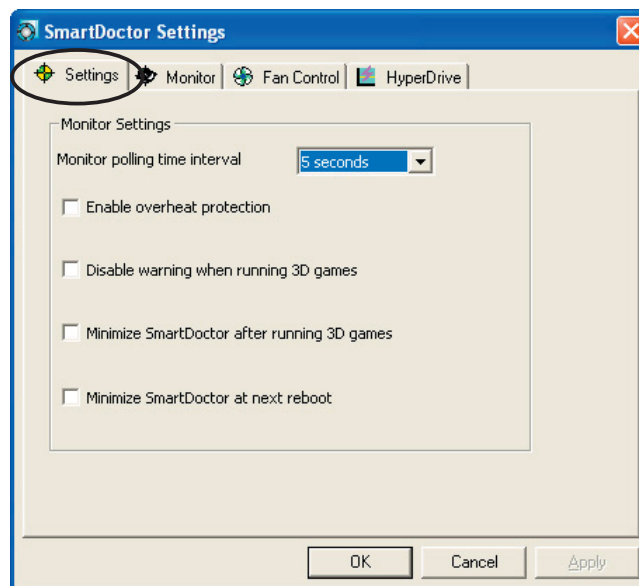
5. 設定したクロック値が表示されたら、「OK」をクリックします。

6.5 詳細設定

SmartDoctor Settings を開くには、SmartDoctor メニューのアイコン  をクリックします。

6.5.1 Settings (設定)

設定を変更するには、下図のように「Settings」タブを選びます。



Monitor Settings (モニター設定)

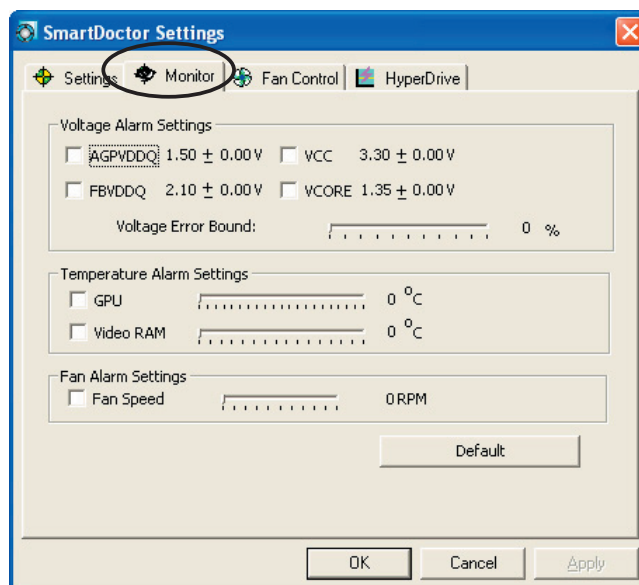
設定変更の手順

1. ドロップダウンメニューをクリックし、「Monitor polling time interval (モニターする時間の間隔)」を設定します。
2. 各機能を有効にするには、チェックボックスにチェックを入れます。
3. 設定を保存するには「Apply (適用)」、または「OK」を押します。

6.5.2 Monitor (モニター)

電圧、温度、ファンのモニター設定を変更する手順

1. 「Monitor」タブを SmartDoctor Settings のダイアログボックスから選択します。



Voltage Alarm Settings (電圧のアラーム設定)

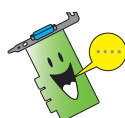
- ・ チェックボックスにチェックを入れ、AGPVDDQ (AGP カード用)、PCIe 12V (PCIe カード用)、VCC、FBVDDQ、VCORE 電圧に対するアラームを有効/無効にすることができます。
- ・ スライダーを移動し Voltage Error Bound (電圧の歪み) の割合を設定します。

Temperature Alarm Settings

- ・ チェックボックスにチェックを入れ、GPU と Video RAM 温度に対するアラームを有効/無効にすることができます。
- ・ 有効にすると、GPU と Video RAM 温度をスライダで調節できます。

Fan Alarm Settings (ファンのアラーム設定)

- ・ チェックボックスにチェックを入れ、ファンスピードのアラームを有効/無効にすることができます。
- ・ 有効にすると、ファンスピードをスライダーで調節できます。



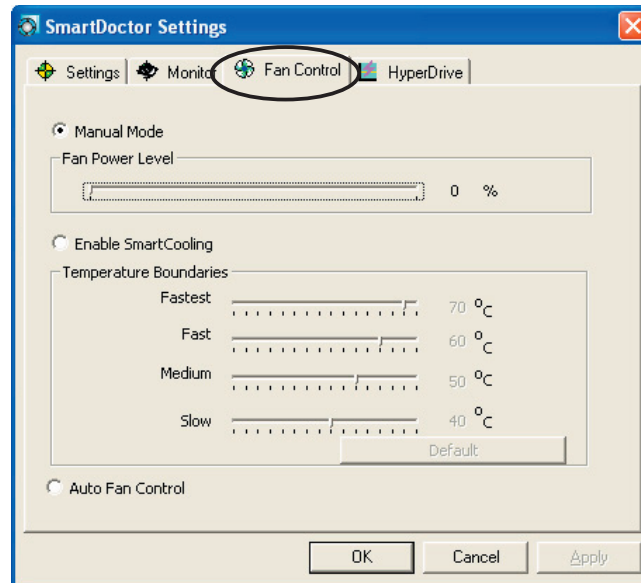
安定したパフォーマンスを得るには、デフォルトボタンを押しデフォルト値に設定してください。

2. 設定を保存するには「Apply」または「OK」を押します。変更を取り消すには「Cancel」を押します。

6.5.3 Fan Control (ファンコントロール)

設定変更の手順

1. SmartDoctor Settings ダイアログボックスにある「Fan Control」タブを選択します。

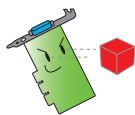


2. オプションボタンをクリックして、「Fan control」機能を選択します。Fan control 機能には、Manual mode（手動）、SmartCooling、Auto Fan Control（自動）の3つのモードがあります。

Manual mode - ファンスピードをTemperature mode のスライダーで手動設定できます。

Enable Smartcooling - SmartDoctor は GPU の温度に応じてファンスピードを自動調節します。例えば、GPU の温度が 60 度以上になると、ファンスピードを最高のレベルに上げ、GPU を冷却します。設定するにはスライダを移動するか、Default をクリックしてデフォルト値にしてください。

Auto Fan Control - SmartDoctor はファンスピードを最適の状態に自動調節します。



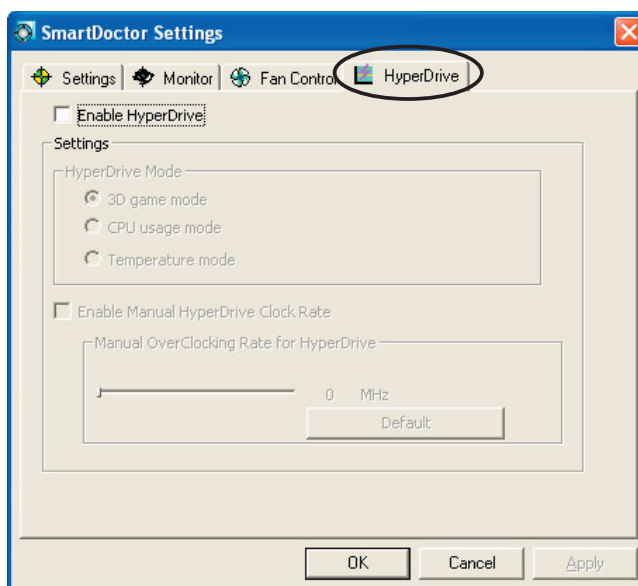
お使いのビデオカードが Fan Speed Control 機能をサポートしていない場合は、Fan Control タブは表示されません。

4. 設定を保存するには「Apply」または「OK」を押します。変更を取り消すには「Cancel」を押します。

6.5.4 ASUS HyperDrive

設定変更の手順

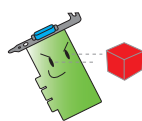
1. SmartDoctor Settings ダイアログボックスにある「HyperDrive」タブを選択します。



ASUS HyperDrive

HyperDrive を有効にする

1. 「Enable HyperDrive」にチェックを入れると有効に、外すと無効になります。
2. オプションボタンをクリックし、HyperDrive Mode を選択します。

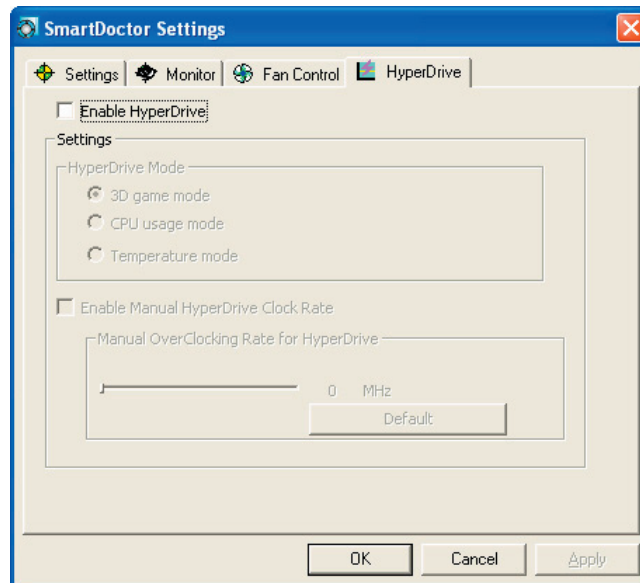


HyperDrive 3D mode を使用するには、ASUS Enhanced Driver をインストールしてください。

HyperDrive Modes

- A. 3D Game mode - 3D ゲームをしているときGPUクロックを自動で最高値に調節し、パフォーマンスを上げます。なお、ゲームが終わると、通常のGPUコアクロックに戻ります。
- B. CPU usage mode - CPUの負荷に応じてGPUコアクロックを効果的に調節します。CPUの負荷が大きいときには GPU コアクロックを上げ、アイドルリング状態の時にはクロックを下げます。
- C. GPU Temperature mode - GPUの温度に応じてGPUクロックを調節します。GPUの温度が上昇するとGPUコアクロックを自動的に下げ、温度が下がるとクロックを上げます。

- HyperDrive を有効にすると、Manual HyperDrive Clock Rate が有効になり、スライダーで周波数の調節ができます。
- 「Default」を押すとデフォルト値になります。

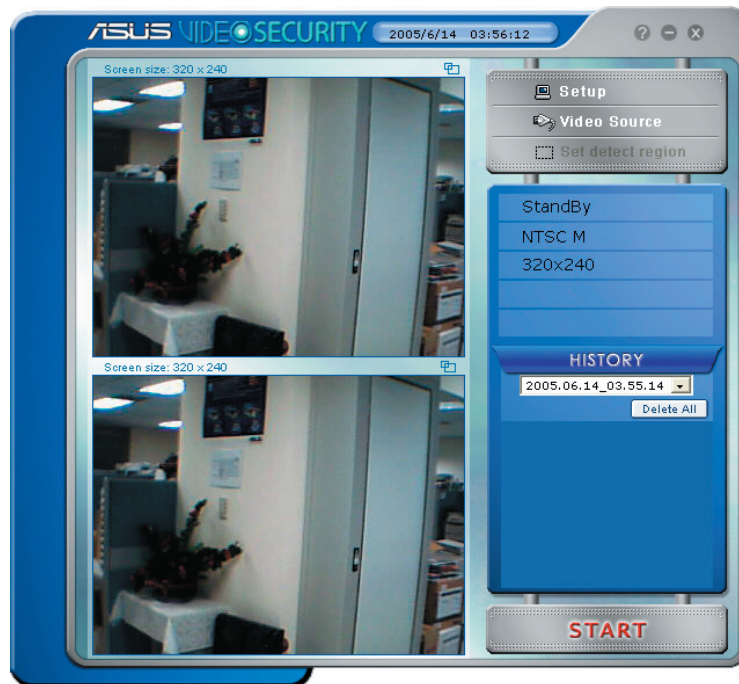


- 設定を保存するには「Apply」または「OK」を押します。変更を取り消すには「Cancel」を押します。

7. ASUS VideoSecurity Online

7.1 ASUS VideoSecurity を起動する

「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「ASUS Video Security」
→「ASUS Video Security」の順にクリックし次の画面を表示させます。



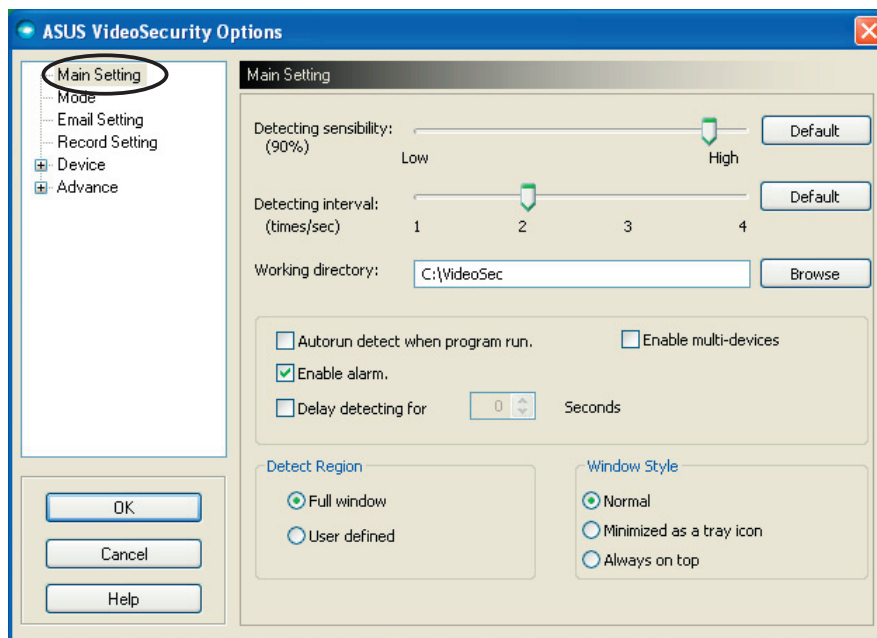
7.2 Setup (セットアップ)

ASUS VideoSecurity の  をクリックすると「ASUS VideoSecurity setup window」が表示されます。

7.2.1 Main (メイン)

「Detecting sensibility (監視感度)」、「Detecting interval (監視間隔)」、「Working directory (ワーキングディレクトリ)」、「alarm (アラーム)」、「autorun」、「Enable multi-devices (マルチデバイスを有効にする)」、「Delay detecting (監視を遅らせる時間)」、「Detect Region (監視範囲)」、「Window Style (ウィンドウスタイル)」の設定をします。

ダイアログボックスの「Main Setting」をクリックし、次の画面を表示させて、設定を行ってください。



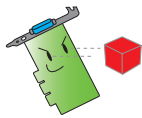
監視感度の設定

「Detecting sensibility」のスライダを動かして、異常に対する感度の設定をします。

または、

「Default」ボタンを押して、標準の照明や気温を基に設定された初期設定に戻します。





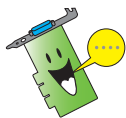
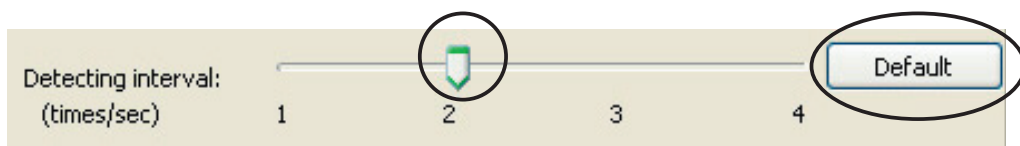
- ・ 気温や照明が監視感度に影響する場合があります。
- ・ ビデオキャプチャデバイスの性能は監視感度に影響します。
- ・ 何度かテストを行い、ちょうど良い値に調節してください。

監視間隔の設定

「Detecting interval」のスライダを調節します。1秒間に何回映像のスキャンを行うかを設定します。設定できる値は、1フレーム/秒、2フレーム/秒、3フレーム/秒、4フレーム/秒です。

または、

「Default」をお選びください。



値を大きくすると、より精密な監視が可能です。

ワーキングディレクトリの設定

テキストボックスにワーキングディレクトリを入力するか、「Browse」をクリックして設定を行ってください。

初期設定は、C:\VideoSec です。ASUS VideoSecurityを実行すると、自動的にここで設定したフォルダの下に新しいフォルダが作成されます。作成されるフォルダの名前は、ASUS VideoSecurityを起動した日付と時間です。（例：ASUS VideoSecurityがJune 06, 2005 at 4:20:10 AM.に起動された場合のフォルダ名は「2005.06.16_04.20.10」になります。）



ASUS VideoSecurityの実行中に、ワーキングディレクトリのフォルダ名を変更すると、起動時間にエラーが現れることがあります。

他の機能の設定

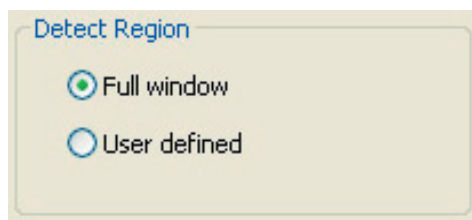
自動実行機能、アラーム機能、マルチデバイス機能、監視時間を遅らせる時間の設定をします。

- 「Autorun detect when program run」にチェックを入れると Windows 起動時に自動的にASUS VideoSecurity が実行されます。
 Autorun detect when program run.
- 「Enable alarm」にチェックを入れると、以上が検出されたことをアラームでお知らせします。
 Enable alarm.
- 「Enable multi-devices」は、シングルデバイスモードとダブルデバイスモードの切り替えが可能です。
 Enable multi-devices
- 「Delay detecting for XXX seconds」は、監視開始までの時間を設定することができます。

Delay detecting for Seconds

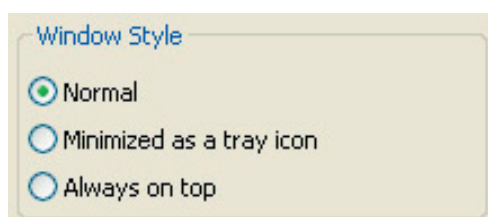
監視範囲の設定

「Detect Region」の項目にチェックを入れてください。「Full window」は、画面全体を監視します。「User defined」は、設定された特定の場所のみを監視します。



ウィンドウスタイルの設定

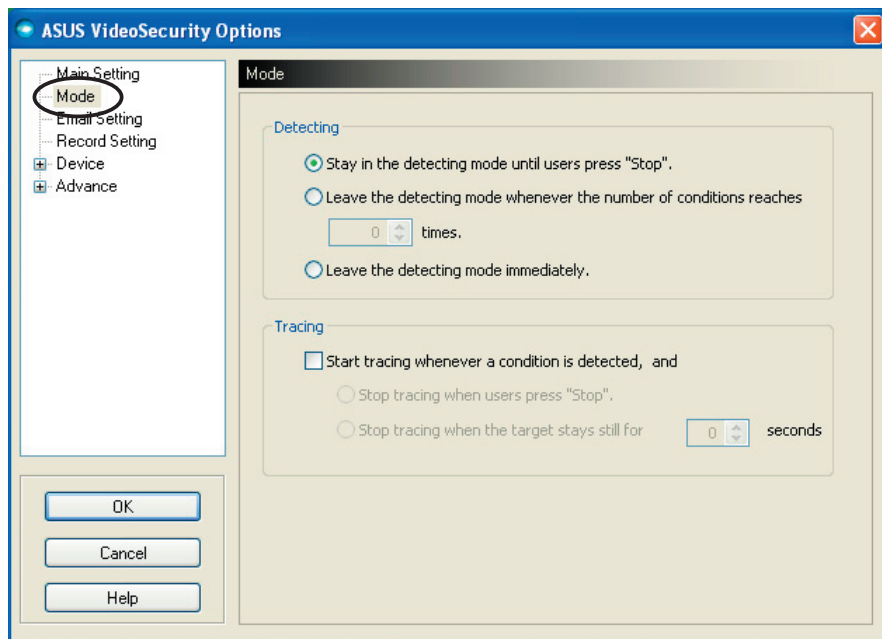
「Window Style」の項目にチェックを入れてください。「Normal」は、通常のウィンドウを表示、「Minimized as a tray icon」は、タスクバーにアイコンとして表示、「Always on top」は、VideoSecurity を常に手前に表示します。



「OK」をクリックして設定を完了させてください。

7.2.2 Mode (モード)

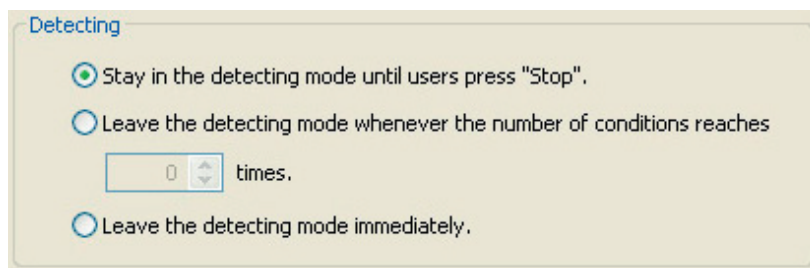
「Detecting (監視)」「Tracing (追跡)」の設定をします。ダイアログボックスの「Mode」をクリックして次の画面を表示させてください。



監視モードの設定

次の設定オプションからご希望のオプションを選択してください。

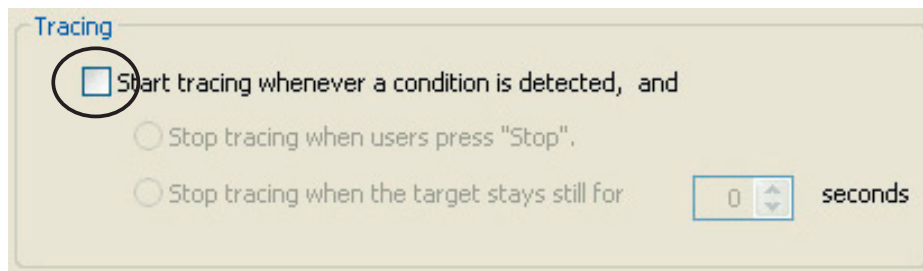
- 「Stay in the detecting mode until users press “Stop”」：監視が開始されてから、ユーザーが「Main menu」の「Stop」ボタンを押すまで監視モードを終了しません。
- 「Leave the detecting mode whenever the number of conditions reaches n times」：監視モードを解除するまでの異常発生回数を設定します。
- 「Leave the detecting mode immediately」：一度異常を検出したら、すぐに監視を終了します。



追跡モードの設定

「Start tracing whenever a condition is detected」は、異常を検出したときに、動くものを追跡します。この項目には以下の2つのオプションがあります。

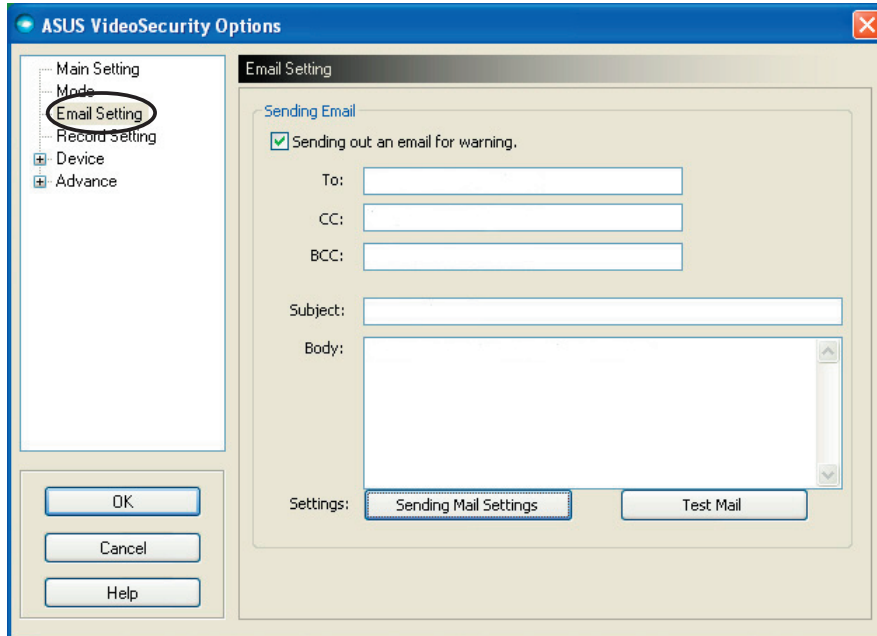
- ・ 「Stop tracing when user' s press “Stop”」：ユーザーが「Main menu」の「Stop」ボタンを押すと追跡を終了します。
- ・ 「Stop tracing when the target stays still for x seconds」：追跡対象がカメラの前から消えるか、静止してから追跡を終了するまでの時間を設定します。



「OK」をクリックして設定を完了させてください。

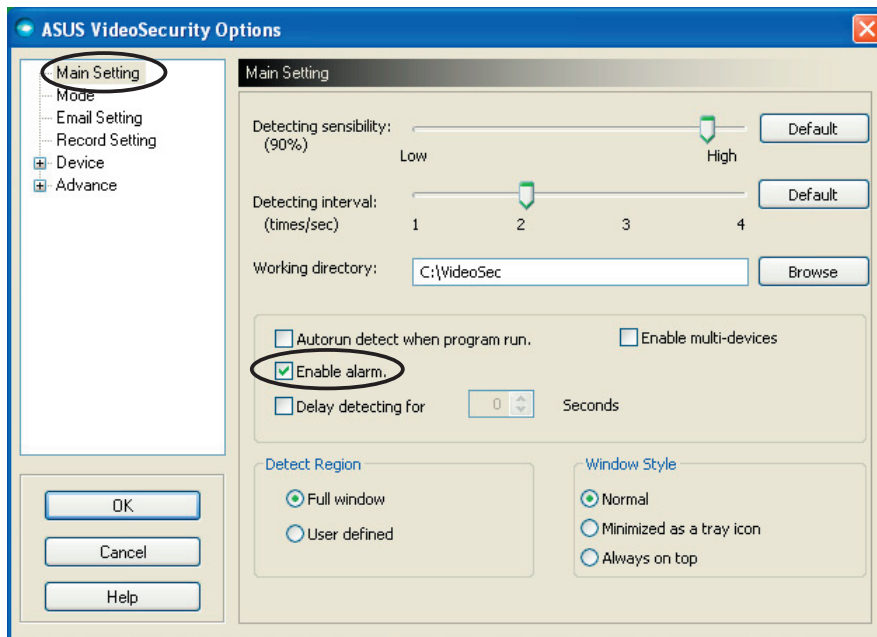
7.2.3 Email Setting (電子メールの設定)

VideoSecurity が検出した異常を電子メールで送信する場合に必要な電子メールの設定をします。ダイアログボックスの「Email Setting」をクリックすると、下の画面が表示されます。

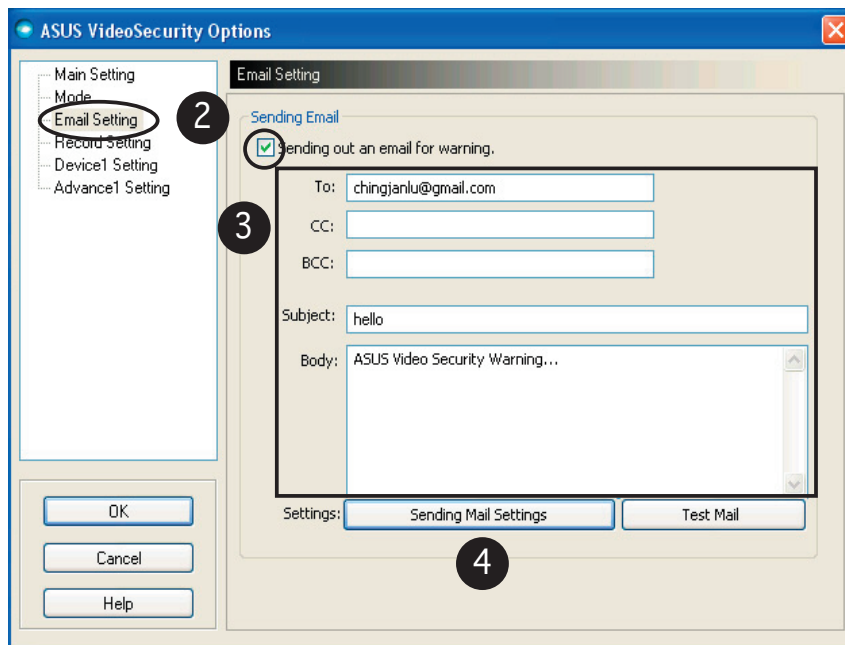


電子メール警告機能を使う

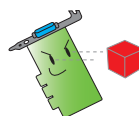
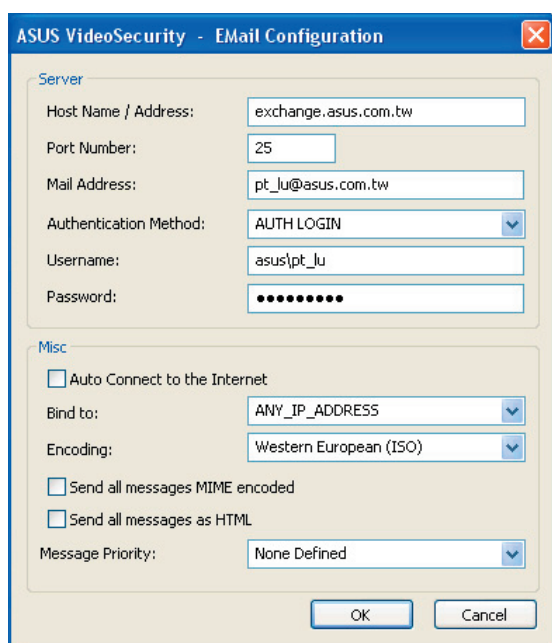
1. Main Setting 画面の「Enable alarm」にチェックを入れます。
(詳細 38ページ参照)



2. ダイアログボックスの「Email Setting」をクリックし、「Sending out an email For warning.」にチェックを入れます。
3. VideoSecurity が異変を検出した場合に警告を送信する、電子メールアドレス、件名、本文などを設定します。
 - ・ To : メインの送信先の電子メールアドレスを入力します。
 - ・ CC : 電子メールのコピーの送信先を入力します。CC に入力された電子メールアドレスは、他の受信者にも表示されます。
 - ・ BCC : 電子メールのコピーの送信先を入力します。BCC に入力された電子メールアドレスは、他の受信者には表示されません。
 - ・ Subject : 件名を入力します。
 - ・ Body : 本文を入力します。



4. 「Sending Mail Settings」をクリックすると、次の電子メールの設定画面が表示されます。



ご不明な点は、プロバイダ等にお問い合わせください。

4.1 Server (サーバ)

電子メール送信に必要な項目の設定をします。Host Name/Address (ホスト名/アドレス)、Port Number (ポートナンバー)、Mail Address (電子メールアドレス)、Authentication Method (認証方法)、Username (ユーザー名)、Password (パスワード)を入力します。

Host Name/Address : 電子メール送信に使うSMTPサーバアドレスです。
(例、exchange.companynam.com、149.112.144.153)

Port Number : リモートコンピュータに要求される接続のタイプの番号です。初期設定では 25 です。

Mail Address : 送信者の電子メールアドレスです。

Authentication Method : ユーザー名とパスワードを確認するための認証方法です。

Username : ユーザーアカウント名です。

Password : 電子メールの送受信に必要なパスワードです。

4.2 Misc (その他)

その他の項目の設定をします。

Auto Connect to the Internet : この項目を有効にすると、インターネット接続の自動的に実行します。IPと送信先のメールサーバの接続が確立されない場合は、ダイヤルアップに変更されます。

Bind to : インターネットに接続するローカル IP を選択します。

Encoding : エンコードの設定をします。

Send All messages MIME encoded : MIME (多目的インターネットメール拡張) に対応します。

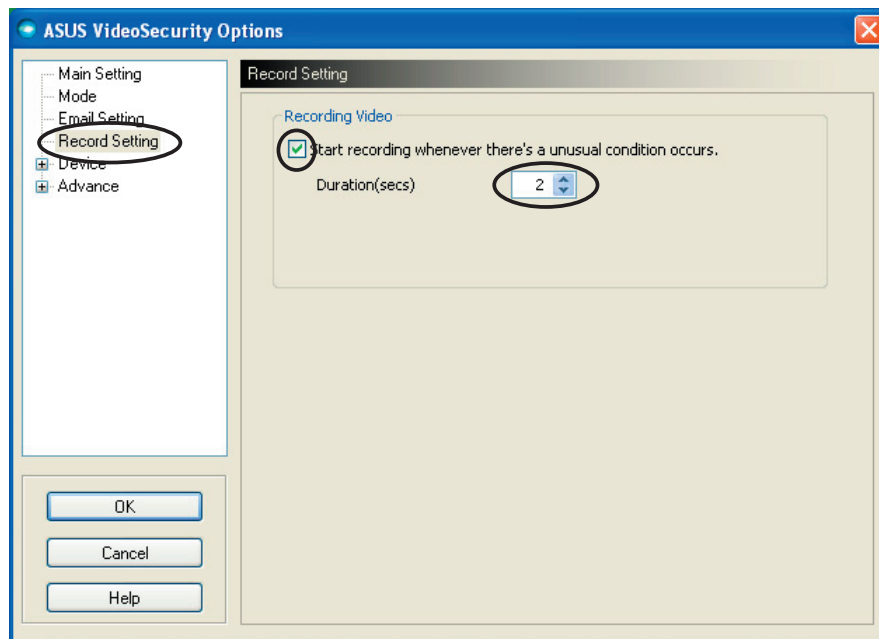
Send All messages as HTML : HTML 形式に対応します。

Message Priority : 電子メールの優先度を設定します。

5. 「OK」をクリックして設定を保存します。設定を中断する場合は、「Cancel」をクリックしてください。
6. 「Test Mail」をクリックして電子メールの設定を確認してください。
7. 「OK」をクリックして設定を完了させてください。

7.2.4 Record setting (録画設定)

異常を検出してから録画を続ける時間の設定をします。ダイアログボックスの「Record Setting」をクリックすると次の画面が表示されます。

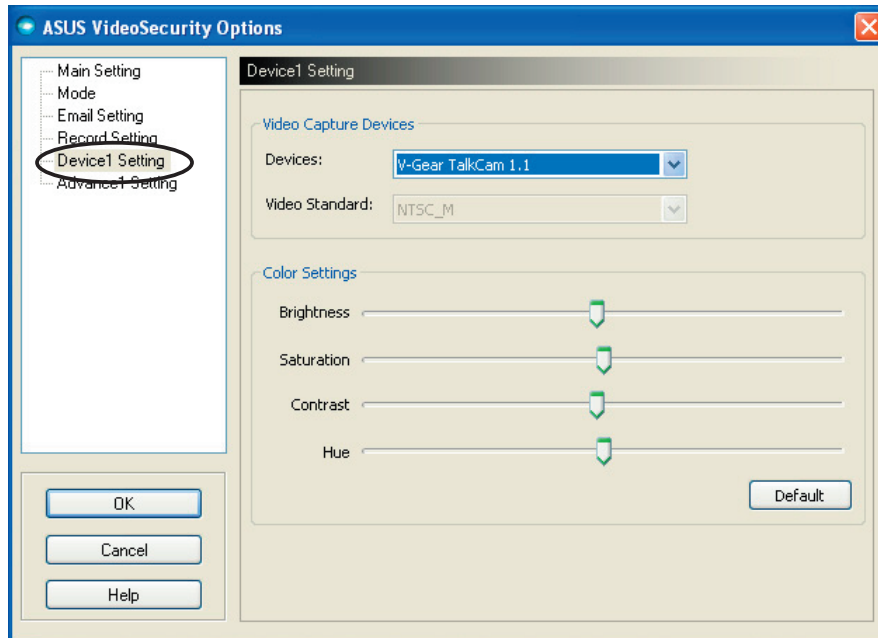


録画設定

1. 「Start recording whenever there's a unusual condition occurs (異常を発見したら記録開始)」にチェックを入れます。
2. 秒単位で録画を続ける時間を設定します。
3. 「OK」をクリックして設定を完了させてください。

7.2.5 Device (デバイス)

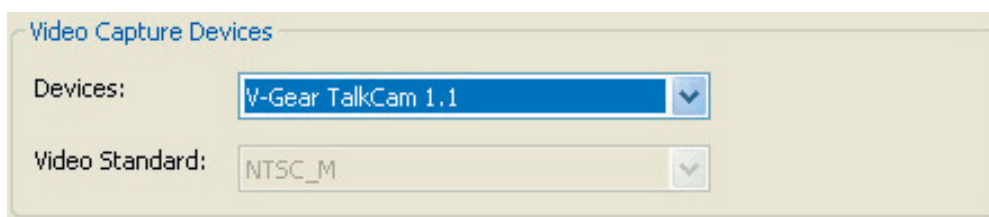
「Device」では、ビデオキャプチャデバイスの選択や色の設定をすることができます。ダイアログボックスの「Device Setting」をクリックし、次の画面を表示させてください。



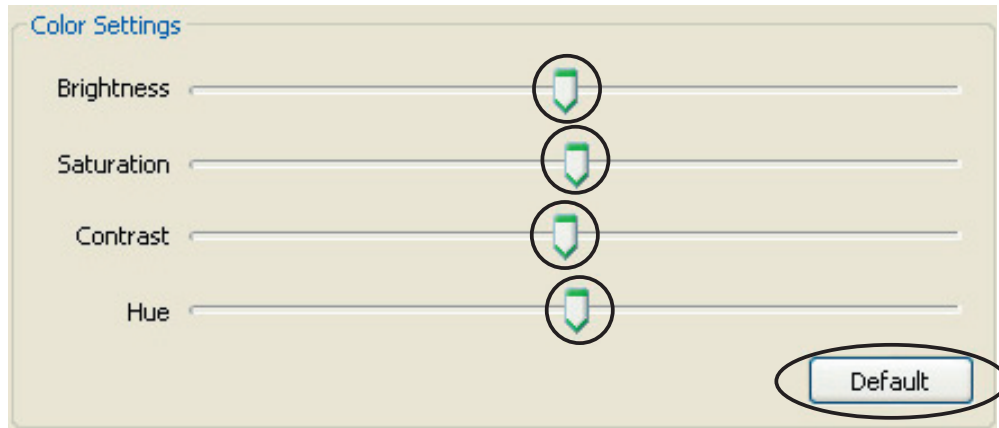
キャプチャデバイスの設定

手順

1. 「Devices」のリストボックスをクリックし、監視に使用するビデオキャプチャデバイスを選択してください。
2. 「Video Standard」のリストボックスをクリックし、ビデオ規格を設定します。



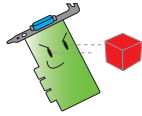
3. 「Color Settings」のスライダを動かして、Brightness (輝度)、Saturation (彩度)、Contrast (コントラスト)、Hue (色調) を調整します。
または、
「Default」 ボタンをクリックして、初期設定にします。



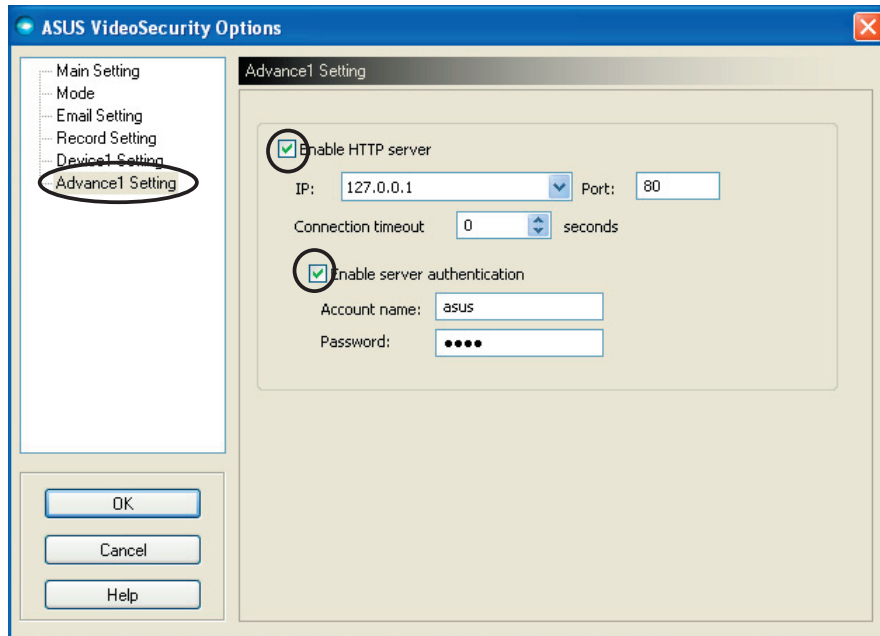
4. 「OK」 をクリックして、設定を保存し退出します。

7.2.6 Advanced (詳細設定)

HTTP の設定をします。ダイアログボックスの「Advanced Setting」をクリックすると下の画面が表示されます。



ご不明な点は、プロバイダ等にお問い合わせください。



HTTP サーバの設定

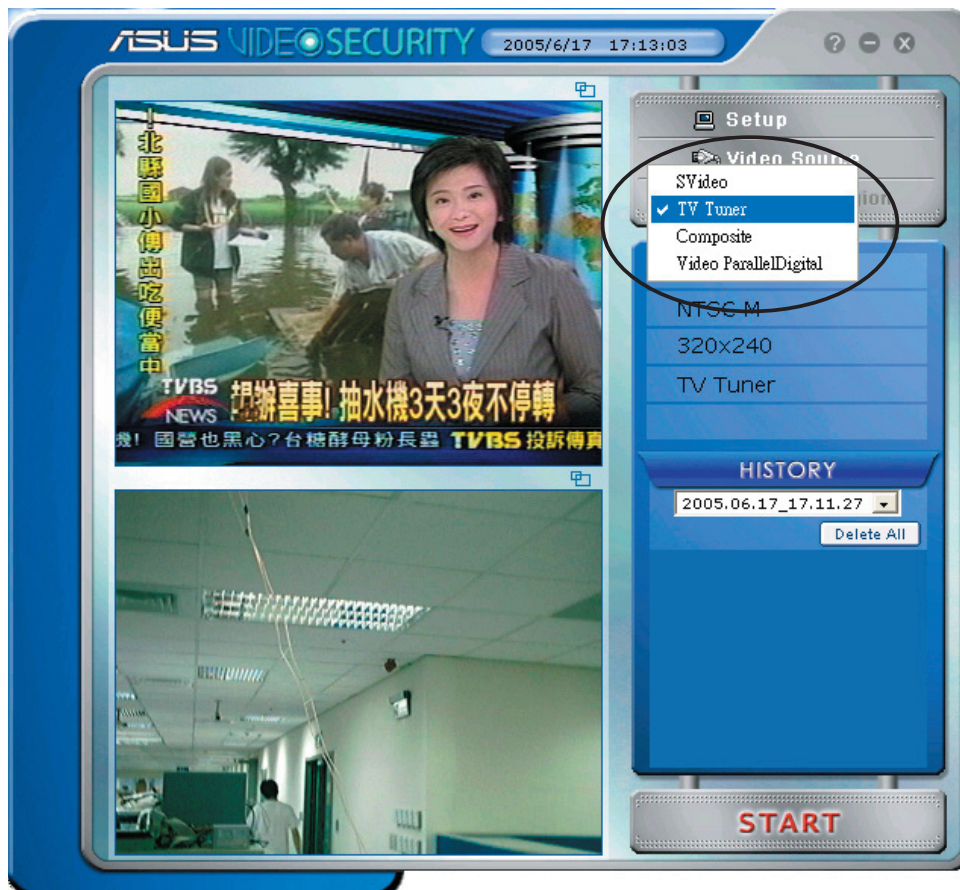
1. 「Enable HTTP Server」にチェックを入れます。
2. IP (IPアドレス)、Port (ポート)、Connection timeout (接続を中断するまでの時間 (秒)) を入力します。詳細は43ページをご覧ください。
3. 「Enabled server authentication」にチェックを入れます。
4. Account name (アカウント名) と Password (パスワード) を入力します。
5. 「OK」をクリックして設定を完了させてください。

7.3 Video Source (ビデオソース)

「Video Source」のリストは有効なビデオデバイスです。また、他のビデオソースを設定することもできます。

7.3.1 ビデオソースの設定

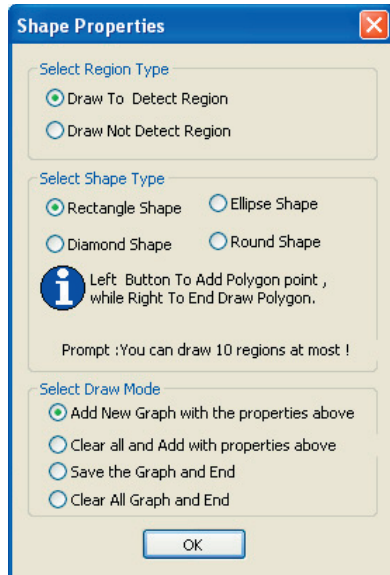
1. 「Video Source」をクリックします。
2. ポップアップメニューから有効なビデオソースを選択します。選択したビデオソース出力は画面上に表示されます。



7.4 監視範囲の設定

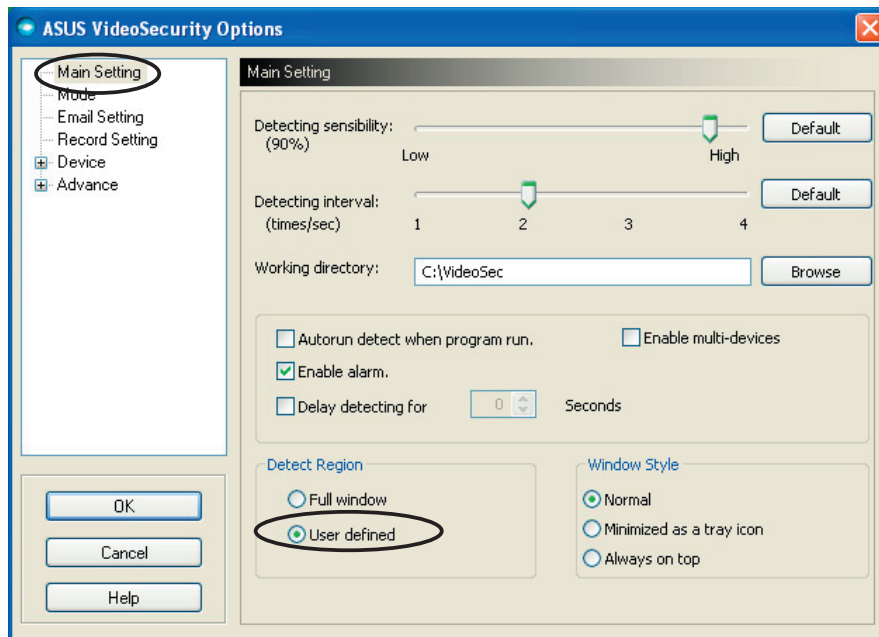
VideoSecurity が監視する「user-defined (ユーザー定義)」の監視範囲の設定をします。

「Main menu」の「Set detect region (監視範囲の設定)」をクリックすると、以下の画面が表示され、監視範囲を設定することができます。

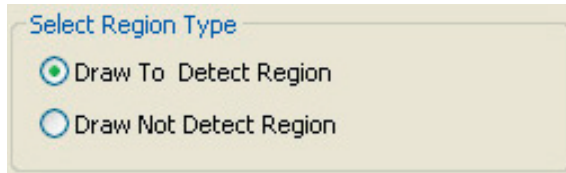


監視範囲の設定

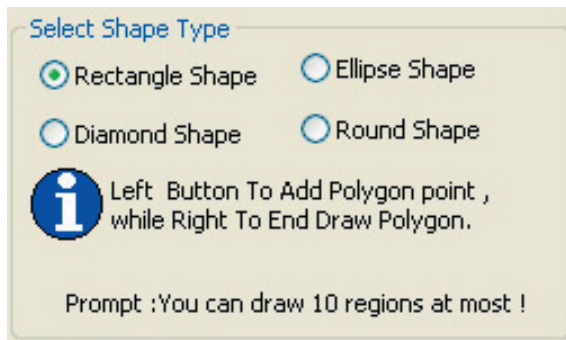
1. 「Main Setting」で、「Detect Region (監視範囲)」の「User Defined (ユーザー設定)」にチェックを入れます。



2. メイン画面の「Set detect region」をクリックし、「Shape Properties (図形のプロパティ)」を表示させます。
3. 「Select Region Type」で監視範囲のタイプを選択します。「Draw To Detect Region」は監視する範囲を設定する場合に、「Draw Not Detect Region」は監視しない範囲を設定する場合に選択します。



4. 「Select Shape Type」で監視範囲の形を選択します。(Rectangle Shape (長方形)、Ellipse Shape (楕円形)、Diamond Shape (ひし形)、Round Shape (円形))



5. 「Select Draw Mode」で、設定した監視範囲の中から実際に使用する監視範囲を選択します。

「Add New Graph with the properties above」 :

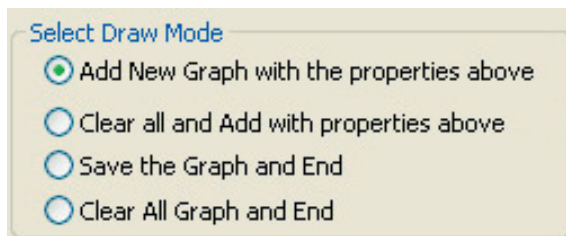
上で設定した条件で新しく監視範囲を設定します。

「Clear all and Add with properties above」 :

現在の監視範囲の設定を削除して上で設定した条件で新しく監視範囲を設定します。

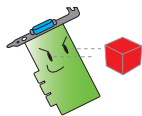
「Save the Graph and End」 : 新しく設定した監視範囲を保存して終了。

「Clear All Graph and End」 : 全ての監視範囲の設定を削除して終了。



6. 「OK」をクリックし、設定を完了させてください。

7. クリックアンドドラッグで監視範囲の設定を行ってください。

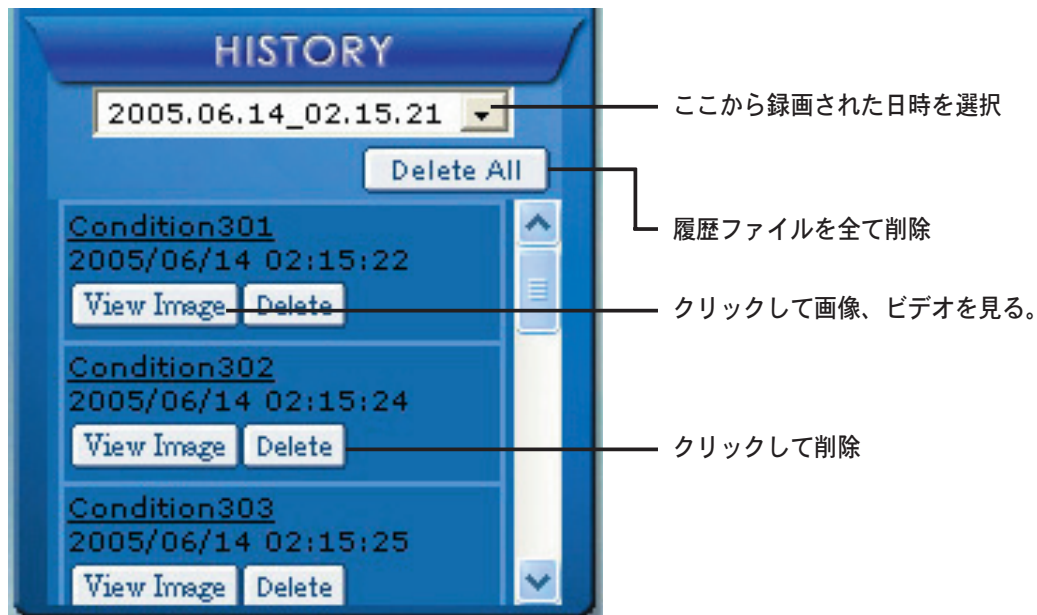


監視範囲は最高10まで設定することができます。

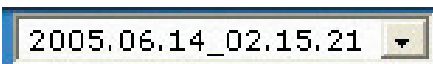
8. **START** を押すと、監視を開始します。

History (履歴)

履歴が表示されます。以下は「Main menu」の HISTORY の説明です。



1. リストボックスから録画された日時を選択し、履歴を表示させます。



2. 他のフォルダに保存してある履歴を削除する場合は、リストボックスからフォルダを選択して **Delete All** をクリックします。
3. 画像やビデオを見るには **View Image** をクリックしてください。
4. 表示されている履歴のみを削除する場合は **Delete** をクリックしてください。

